



4総総発第10590号

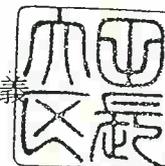
令和4年6月13日

大田区議会議長

鈴木隆之様

大田区長

松原忠義



議案の訂正について

先に提出しました、報告第13号 公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類の提出について、下記のとおり誤りがありましたので、議案の訂正を許可願います。

記

1 報告第13号

令和3年度公益財団法人大田区産業振興協会事業報告書

ページ	訂正箇所	正	誤
10 ページ	⑦ 大田区優秀技術者表彰事業「大田の工匠 技術・技能継承」の決算額	(うち区補助) <u>2,724,755</u> 円	(うち区補助) <u>2,724,735</u> 円
17 ページ	⑦ 商い・サービス産業取引相談の決算額	<u>8,734,771</u> 円	<u>8,731,731</u> 円
		(うち区補助) <u>7,905,866</u> 円	(うち区補助) <u>7,902,826</u> 円



報告第 13 号

公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類の提出について
地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、公
益財団法人大田区産業振興協会の下記の書類を提出する。

令和 4 年 6 月 15 日

提出者 大田区長 松 原 忠 義

記

公益財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類

- 1 令和 3 年度事業報告書
- 2 令和 3 年度決算書
- 3 令和 4 年度事業計画書及び収支予算書

令和 3 年 度
公益財団法人大田区産業振興協会
事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

令和3年度 公益財団法人大田区産業振興協会 事業報告書

(目 次)

令和3年度 総括	1
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業(定款第4条(1)関係)・・・	2
2 区内中小企業の経営支援に関する事業(定款第4条(2)関係)・・・	4
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業(定款第4条(3)関係)・・・	12
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業(定款第4条(4)関係)・・・	19
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業(定款第4条(5)関係)・・・	22
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業(定款第4条(6)関係)・・・	28
7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から 受託する事業(定款第4条(7)関係)・・・	30
令和3年度 産業プラザ施設利用状況<別表A>・・・	31
施設利用収入状況<別表B>・・・	32
理事会・評議員会	32
コロナ対策	33
協会組織強化	34
研修	34

令和 3 年 度 総 括

令和 3 年度の我が国経済は、ほぼ 2 か年に亘るコロナ禍に対しワクチン接種や新しい日常への転換を進めることで対応力を高めつつも、直近の 令和 4 年 1-3 月期の実質 GDP では令和 3 年 10-12 月期に対し約▲0.2%が見込まれるなど回復に向けて一進一退の状況にあります。また、世界的な半導体や部品の不足などの供給制約も生産や輸出そして個人消費の足かせとなり、本区の産業への長びく打撃となっています。

一方、緊急事態宣言が全国的に解除された昨年 10 月以降は経済社会活動の水準が段階的に引き上げられる中、観光をはじめ個人消費に上向きの動きが確認できるなど、一部に景気持ち直しの兆しも見えてきたところです。

こうした状況下、(公財)大田区産業振興協会は、区内中小企業のデジタル化を推進するためのプラットフォームとして「OTAデジタル×Pi0」の構築とともに新たな取引機会の創出に向けて羽田イノベーションシティ内の「Pi0 PARK」を昨年10月に本格稼働させ「蒲田Pi0」とともに「3つのPi0」の体制を整えました。

「ベンチャーピッチ in 羽田 2021」は、資金の調達のみならず起業や新事業立ち上げを目指す参加者間の交流を促し、「ユナイト助成事業」では、スタートアップ企業が有する付加価値の高い案件を区内に呼び込むとともに、区内企業の受注増加・販路拡大と技術力向上を図りました。

このほか「おおた商い観光展 2021」は、令和 2 年度に引き続き、区内全域をパビリオンに見立て紙媒体と Web 上で一か月間開催。「三国志」を題材に「技・娯・食」それぞれの魅力を区民・来訪者の皆様に体感いただきました。

令和 4 年度は、コロナとの共存に基づく景気持ち直しの動きを確かなものとし、区内経済を持続的な回復軌道に乗せていくことが重要であり、併せて、本年初から急速に感染が拡大しているオミクロン株 BA・2 及び XE による第 7 波への対応にも万全を期しつつ、欧州情勢や世界的な原材料不足、そして急激な円安に対しても備えていかなければなりません。

(公財)大田区産業振興協会は、刻々と変化する環境への対応力を高める支援を切れ目なく実行することはもとより、デジタル化や SDGs 等世界の潮流を的確に捉えつつ積極果敢にチャレンジし続けることで、大田区のすべての「産業者」の応援団として、皆様の期待にこたえてまいります。

1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業 【定款第4条（1）関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・協会 Web サイトで「新型コロナウイルス対策製品を生み出す大田区企業」の情報を更新し先進的な取組事例を紹介した。新型コロナウイルス感染症の拡大に備え、「大田区簡易版 BCP シート」により、緊急事態への対応や事業の優先順位付けなど協会 Web サイトを通じて促した。
- ・奇数月、年6回、「テクノプラザ」を発行し、取引拡大や人材確保等の先行事例、支援事業等、大田区企業に必要な情報をタイムリーに発信し、経営力の向上を図った。
- ・区内産業のプロモーションとして大田区「優工場」認定企業や「大田のお土産 100 選」表彰商品・製品を、ホームページ等を通じて広く周知し、区内企業の優位性や区内商品・製品の魅力を区内外に発信した。

① 大田区産業振興普及事業

【予算額 463,000 円（うち区補助）463,000 円】

【決算額 396,140 円（うち区補助）396,140 円】

（ア）総合事業案内冊子の作成・配布

2,500 部作成、協会窓口等で随時配布

（イ）大田区工業ガイド Web 版の紹介（日本語版・英語版）

（ウ）視察対応

国内	105 団体	334 人
海外	10 団体	22 人



【総合事業案内 冊子】

② 大田区ブランド発信事業

【予算額 0 円】

【決算額 0 円】

協会 Web サイトにおいて、区内中小企業等のブランド力維持・向上に資する先進的な取り組みを特集する記事や、協会事業の効果的な活用事例の紹介等を月に一度発信した。

4 月	第 32 回大田区中小企業 新製品・新技術コンクール 受賞企業インタビュー
6 月	～新たな展開～ 若者が活躍する継承とは 大田の工匠 技術・技能継承
8 月	宇宙を支える大田区のスタートアップ企業 ～創業するなら ものづくりのまち～
11 月	コロナ禍での販路拡大に自社 PR 動画を活用！！～他とは違う！大田区産業振興協会の企業 PR 動画制作支援事業とは！～
2 月	特集 新春座談会 未来を見据えた職場づくり ～大田区ものづくり企業・未来への展望～

③ 産業情報誌の発行

【予算額 4,830,000円（うち区補助）4,830,000円】

【決算額 3,864,228円（うち区補助）3,864,228円】

区内製造業向けに支援策の概要を周知するために隔月（奇数月）情報誌を発行。

「テクノプラザ」	A4判 各号4,400部
年6回発行（5・7・9・11・1・3月号）	



【テクノプラザ】

④ 産業情報受発信事業

【予算額 4,163,000円（うち区補助）4,163,000円】

【決算額 4,025,153円（うち区補助）3,987,653円】

(ア) 産業情報の収集と提供

・産業関連情報誌の購入:116冊、・寄贈:209冊、・新聞購入:4紙

(イ) 区内中小企業の情報発信

・区内中小事業者の紹介動画（大田区「優工場」認定企業、「大田のお土産100選」表彰製品・商品（事業者）等）を、ホームページ等を通じて広く周知した。



【協会ホームページ】

(ウ) 協会ホームページによる情報発信

・トップページに大型バナーのライドショーを設置し、新着情報のアピールを強化
 ・公式ツイッターを開始し機動的な情報発信を強化、一般個人にも対象を拡大。
 ・随時発信 (<http://www.pio-ota.jp/>)
 ・年間アクセス件数:535,762件
 ・年間閲覧ページ数(PV):1,336,168件
 ※年間アクセス件数及び閲覧ページ数は、サブサイト「大田区産業プラザ(貸館予約)」、「大田区ものづくり 研究開発マッチングシステム(mirai)」、「おしごとナビ大田区」の件数を含まない。

⑤ 調査・研究事業

【予算額 0円（うち区補助）0円】

【決算額 0円（うち区補助）0円】

〔重点取組み事項〕

- ・創業者支援事業では、創業期における様々な課題解決に向け、スキルアップを目指して積極的な取組みを行った。特に、令和2年度にオープンした羽田イノベーションシティ内 HANEDA×PiO において、新たなプログラムを展開し、区内創業者に向けた協会の支援を広く周知することで HANEDA×PiO の認知度向上と創業者支援の拡充に努めた。
- ・「創業相談窓口」
窓口での相談件数は575回、そのうち新型コロナウイルス対策として、オンラインによる面談を75回実施した。継続的な相談や国の特定支援事業を案内するなど、区内創業を促進した。
- ・「ものづくり創業スクール」(創業体験ワークショップ)
ビジネスプランを形にする体験ワークショップを開催、延べ93人参加。
ビジネスアイデアをチームに分かれて磨くことで、参加者にとってはよりリアルな、今後の起業につながる場となった。
- ・「スタートアップ試作支援」(ベンチャーピッチ in 羽田)
創業に必要な知識である、経営や財務に関するセミナーを4回にわたり開催し、区内創業の促進に努めた。創業希望や創業間もない企業・団体から15件の応募があり、ビジネスプランをコーチングによりブラッシュアップした。イベントで開催した「ベンチャーピッチ in 羽田」では実際の投資家に対して8件のピッチを行った。会場では、ビジネス上の質問や指摘があるなど、創業者にとって今後の成長につながる機会を創出できた。
- ・「工場表彰制度」事業は、令和3年度は8社を優工場に認定した。歴代の認定企業がプロジェクトチームを作り、共同受注や若手人材確保について検討を重ねるなど、持続可能な地域産業の発展に資する自主的な活動に繋がっている。また、産業プラザ2F小展示ホールにて「優工場」認定企業による営業職交流会を開催した。製造と営業社員が中心となって活発な意見交換を行い、社員同士も気付きを得るなど新たなコミュニティ形成活動継続を支援した。
- ・「大田の工匠 技術・技能継承」表彰事業では、令和2年度受賞企業に対して産業プラザ2F小展示ホールにて表彰式を開催し、区内外に広くPRすることで、「技術・技能継承」と「若手人材の育成・確保」の重要性を喚起した。令和3年度表彰では、12社12名を選定した。
- ・「大田のお土産100選」表彰事業では、表彰を終えた令和3年度は、表彰事業者の販売機会拡充とPR活動発信に注力した。販売機会の拡充については、羽田イノベーションシティ内店舗での常設販売、区内商業施設フェアへの出展、ギフトショーへの共同出展、勤労者共済コラボ企画、地域スポーツ団体の試合開催時のイベント出展など販売機会の拡大に注力した。PR活動としては、事業者店頭掲示用としてお土産100選のロゴシールを配布しPRを行った。また、総合版パンフレットの増刷等を実施し、表彰事業者をはじめ、鉄道事業者、区観光課などに配布し区内外に発信した。

① 中小企業情報化支援

【予算額 5,101,000円(うち区補助)2,791,000円】

【決算額 4,151,335円(うち区補助)2,357,235円】

ホームページ・PRツール作成支援サービス

PiOデザイン工房(毎週火・水・金曜日実施)

利用回数 延べ235回 新規利用者数 23社

② ビジネスサポートサービス

【予算額 20,651,000円（うち区補助）10,651,000円】

【決算額 16,738,703円（うち区補助）9,759,328円】

(ア) ビジネスサポート相談（専門家派遣）

区内中小企業等が抱える経営、販路開拓、技術や生産性の向上、事業継承などの様々な課題解決のため、専門家（支援協力者）等を派遣するなどして相談事業を実施した。

専門家派遣回数 (内、事業承継案件)	625回 (6社)	支援協力者 登録数	107名
特許相談	30回	対応専門家	4名
大田の工匠派遣 回数	2回		

(イ) 経営サポートセミナー

実施日	テーマ等	参加者数	成果
令和3年9月9日	商業系事業者向け補助金活用セミナー(オンライン) 「補助金・助成金の紹介、書き方について」 講師:プライムパートナー 大野順弘	当日視聴 25社 後日配信 12社	満足度 (アンケート) 92.3%
令和3年11月25日	経営サポートセミナー 「専門家が教えます！事業計画の描き方」 講師:中小企業診断士 納塚 大	15人	満足度 (アンケート) 78%

(ウ) 各種許認可等取得支援助成金

許認可等の種類	助成金交付企業数
<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器製造業及び医療機器製造販売業(1件) ・指定管理医療機器製造販売認証(1件) ・プライバシーマーク(1件) ・ISO13485(1件) ・ISO9001(1件) ・JISQ9001(1件) 	5社(6件)

(エ) デジタル社会における知的財産保護・戦略的活用のための大田区中小企業のデジタル実装に係る支援モデル構築事業

- ・国の補助金「中小企業知的財産活動支援事業費補助金」(中小企業知的財産支援事業)を活用した事業
- ・区内企業の知的財産保護・活用とデジタル化の現況を整理・分析
- ・デジタル社会に適合した知的財産保護・活用のあり方の検討会の実施(2回)
- ・デジタル社会における知的財産保護・活用と地域内デジタル化の実装・展開
 - (1) デジタル時代における戦略的な知的財産保護・活用ノウハウ&事例集の作成、普及
 - (2) デジタルプラットフォーム「OTA デジタル×PiO」構築による、区内企業のデジタル化促進環境の整備
 - ◆デジタルプラットフォーム「OTA デジタル×PiO」実績
 - ・登録者 572 人(令和4年2月末現在)
 - ・「OTA デジタル×PiO」関連イベント合計 10 件
(セミナー4件、関連イベントアーカイブ6件)
 - ・「OTA デジタル×PiO」内での勉強会(大田区企業×医療・ヘルスケア産業)1件



【OTA デジタル×PiO】

③ 繁盛店創出事業

【予算額 18,534,000 円 (うち区補助) 18,534,000 円】

【決算額 32,377,341 円 (うち区補助) 32,377,341 円】

(ア) 個店診断・改善費用助成

(a) 小売店、飲食店及びサービス業事業者の抱える課題解決のため、店舗経営の専門家による経営相談及び改善提案を行ったほか、店舗の改装や宣伝広告などに要する改善費用の一部を助成した。

専門家対応件数	うち店舗改善費用助成件数
50 件	22 件

(b) 新型コロナウイルス感染防止対策特別助成枠を設け、各業種によって定められた感染防止のガイドラインを踏まえた店舗の改善費用を助成した。

新型コロナウイルス感染防止特別助成申込件数	うち令和3年度助成件数
211 件	204 件

(イ) 商業版産業情報誌の発行

商店・サービス業事業者向けの情報誌を発行し、商店街を中心に区内の店舗に配布することで、大田区産業の活性化を図った。

「あき now」発行	A4判 年2回(各回 8,000 部)
------------	---------------------



【商業情報誌 あき now】

(ウ) 商い経営事例研究会

実施日	内容	参加者
令和4年3月4日～ 3月25日	区内商業事業者の経営事例の紹介 形式:オンライン配信 講師:あきない活性化コーディネーター 粕谷 智和	28人

④ 創業者支援事業

【予算額 18,275,000円 (うち区補助) 18,275,000円】

【決算額 13,630,658円 (うち区補助) 13,630,658円】

(ア) 創業相談窓口の設置

創業相談窓口相談件数	延べ575回
------------	--------

(イ) 区内創業を促進するセミナー等の実施

(a) ものづくり創業スクール(創業体験ワークショップ)

実施日	タイトル・講師等	参加者数
令和3年9月11日	「チームづくり・アイデアピッチ」 ウォーミングアップワーク、アイデアピッチ、チームビルディング、 アイデアブラッシュアップワーク、リーンキャンパス作成ワーク 講師:エイチタス株式会社 原 亮 氏	22人
令和3年9月13日 9月15日	「オンラインコーチング」 メンター陣によるアドバイス(各チーム1時間程度) メンター:エイチタス株式会社 原 亮 氏 SSS 合同会社 小田 恭央 氏 Product Founder & Engineer 増井 雄一郎	22人
令和3年9月18日	「創業準備」 講義①創業準備と手続き 講義②スタートアップのための資金調達のポイント 講義③経営の出口戦略、ワーク:企業のライフサイクルを描く、 成果発表 講師:エイチタス株式会社 原 亮 氏	19人
令和3年9月25日	「ピッチイベント」 ピッチ本番、審査員講評、表彰式 講師:エイチタス株式会社 原 亮 氏 審査員:グローバル仙台 篠原 俊也 氏 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 杉原 美智子 氏	30名

(b) 創業セミナー

実施日	テーマ・講師	参加者数
第1回 令和3年10月6日	「経営計画」 経営計画の意義、ビジネスアイデアとビジネスプラン、 経営計画の構成と活用方法、経営計画の作成 講師:ブレイクポイント株式会社 若山 泰親 氏	17人

第2回 令和3年 10 月 14 日	「財務」 財務・会計・税務の基礎知識、損益計画・資金計画の作成 方法、資金繰り表作成ワークショップ、資金調達の方法 講師:ブレイクポイント株式会社 若山 泰親 氏	19 人
第3回 令和3年 10 月 20 日	「人材育成」 人材採用・育成・戦力化のフロー作り、労務管理の基礎 知識 講師:社会保険労務士法人JPN 宮武 善樹 氏	17 人
第4回 令和3年 10 月 28 日	「販路開拓」 マーケティングの基礎知識、独自の集客手段の確立、 営業・販売計画の作成 講師:ブレイクポイント株式会社 若山 泰親 氏	18 人

(c) スタートアップ試作支援(ベンチャーピッチ in 羽田)

概要	
<p>参加者募集:令和3年9月1日～11月15日 参加者選定会:令和3年11月17日 ※応募15社から8社を選定 全体コーチング:第1回 令和3年12月14日 第2回 令和3年12月23日 個別コーチング:令和3年12月～令和4年2月の3か月間、月2回を目安に実施 ピッチイベント:令和4年2月18日 ※CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)などの投資企業に対して ピッチを実施。 投資企業(5社) 東急株式会社、株式会社ニコン、日本航空株式会社、 ヤマトホールディングス株式会社、株式会社 FUNDINNO</p>	
登壇企業・団体名	ビジネスプランタイトル
株式会社 SOXAI	睡眠分析・健康管理用スマートリング
株式会社 SKIDAY	日本の「極上の雪質」を世界に向けて発信する ～アウトドア型観光施設向け、モバイル式ライブカメラシステムの提供～
株式会社 Brain Stream	消防設備点検業務の DX
株式会社 AI	世界最薄水準のカーボンニュートラルな新素材「ネイルコンタクト®」事業
ファシリティジャパン 株式会社	ウェブサイトのアクセシビリティ向上をサポートするソリューション「FACIL'iti」
YELLOW8 株式会社	空港での電動キャンピングカーシェア
ヌデザイン	パラグライダーエンジン及びカスタムバイクパーツ製作
山縣 晶子	羽田空港を拠点に【日本文化体験プラットフォーム】

(ウ) ユナイト助成

助成件数 2社 (申込件数 2社)	
企業名	事業テーマ
株式会社 OUTSENSE	折り工学を応用したサーフェス形状探索システム「ORIFACE」
株式会社グーテンベルク	FFF/FDM 式高速 3D プリンター試作開発事業

⑤ 工場表彰制度

【予算額 3,658,000 円 (うち区補助) 3,558,000 円】

【決算額 2,613,929 円 (うち区補助) 2,613,929 円】

申込企業	9社	
認定	認定8工場、うち表彰4工場	
	 【優工場 実地調査】	 【優工場パンフレット】
	① 総合部門賞:1社 株式会社酒井製作所	
	② 人に優しい部門賞:1社 株式会社エース	
	③ まちに優しい部門賞:1社 株式会社ハタダ	
	④ 審査員特別賞:1社 株式会社三和産業	
⑤ 認定工場:4社 株式会社極東精機製作所 株式会社熊井製作所 株式会社ニイズマックス 株式会社豊樹脂		
累計	278 社(令和4年3月末現在)	
実地調査	令和3年9月1日～3日	
審査会	令和3年10月18日	
表彰式	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
成果	令和2年度認定5社にアンケートを実施、「満足度 80%」	

※優工場認定企業間のネットワーク構築に向け、以下の自立プロジェクト活動を支援した。

●プロジェクト会議(2回)

回	日付	検討内容等
第21回	令和3年9月8日	営業職交流会の企画についての意見交換
第22回	令和3年11月16日	営業職員交流会のスケジュール及び役割分担を共有

●「優工場」交流会(1回)

第7回	令和3年11月25日 17社29名参加	自社の強み・弱み、営業の取組みについての共有
-----	------------------------	------------------------

⑥ 商店（飲食店）表彰制度

【予算額 4,551,000円（うち区補助）4,551,000円】

【決算額 4,278,832円（うち区補助）4,278,832円】

広報活動	<p>① いちおし新メニューキャンペーン 参加19店舗 開催期間 令和3年11月14日～12月12日 メニュー開発をサポートするウェビナーを開催 配信日令和3年8月2日 講師:中小企業診断士 高田 泰弘 氏 東急沿線情報誌「SALUS」10月号への広告掲載によりキャンペーンを周知</p> <p>② うえるかむ OTA ウェブサイト開設 MICE 情報発信 WEB サイトとして「宿泊・グルメ・観光」の情報提供を行う(令和4年度より区観光課へ移管)</p> <p>③ その他の広報活動 はねびよん健康ポイント スタンプスポット として登録(84店舗)</p>	 <p>【OTA!いちおしグルメ ホームページ】</p>
成果	<p>コロナウイルス感染拡大の影響で飲食店の売上が大幅に減少する中、新メニューキャンペーンの販促効果は一定程度あった。</p>	

⑦ 大田区優秀技術者表彰事業「大田の工匠 技術・技能継承」

【予算額 2,979,000円（うち区補助）2,979,000円】

【決算額 2,724,755円（うち区補助）2,724,755円】

令和2年度 受賞企業表彰式		<p>令和3年10月26日「大田区産業プラザ PiO2F 小展示ホール」にて8社(8組)表彰</p> <p>【大田の工匠 技術・技能継承 パンフレット】</p>
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------

令和3年度の募集 及び調査・審査	<p>令和3年8月2日～9月30日 (応募企業数)12社(12組) (実地調査)令和3年10月29日、11月1日、11月12日 計3日間 (審査会)令和4年1月12日、12社(12組)を選定</p>  <p style="text-align: right;">【大田の工匠 実地調査】</p>
---------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑧ 大田のお土産 100 選 表彰事業

【予算額 2,922,000 円 (うち区補助) 2,922,000 円】

【決算額 2,555,742 円 (うち区補助) 2,555,742 円】

展示・販売	<ol style="list-style-type: none"> ① 羽田イノベーションシティ丸善雄松堂 Creadisce(クリアディスク)で「大田のお土産 100 選」常設販売 ものづくり事業者 25 社の製品を販売 ② 東急プラザ蒲田「大田のお土産 100 選フェア」出展販売 17 事業者 令和3年9月18日～9月20日 ③ 勤労者共済コラボ企画 参加 12 事業者 会報「ふれあい」令和3年12月号に掲載 ④ B.LEAGE アースフレンズ東京 Z「おいでよ！カマタ Z」納品販売5事業者 令和3年9月17日 ⑤ B.LEAGE アースフレンズ東京 Z「おいでよ！カマタ Z」納品販売8事業者 令和3年12月11日～12日 ⑥ TOKYOイイシナオンライン展示商談会 出展 1 事業者 令和4年1月17日～3月11日  <p style="text-align: right;">【大田のお土産 100 選 ホームページ】</p>
広報活動	<ol style="list-style-type: none"> ① タリーズコーヒー羽田イノベーションシティ店に「大田のお土産 100 選」の製品・商品を常時紹介 ② 表彰事業者へ計 840 部、東急電鉄へ 400 部、大田区観光課へ 2,000 部 ③ 店頭掲示用の「大田のお土産 100 選」ロゴシールを作成、表彰事業者へ配布
成 果	<p>表彰 84 事業者へ事業評価アンケートを実施(回答率 55%) 満足度成果目標 80%に対し、78%</p>

3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

【定款第4条（3）関係】

〔重点取組み事項〕

- ・「受・発注商談会」は、年1回（11月）参加企業135社規模（発注企業45社、受注企業90社）で開催。商談会会場では新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、区内中小企業に対し商談案件を334件提供した。また、現場のニーズを直接確認するため区内企業812社を訪問し、取引拡大に向けたサポートを行った。参加者アンケート内容の満足度から確度の高い商談機会を提供出来たことが伺える。
- ・海外取引相談では、英文企業ガイド（冊子）のウェブ版になる英文企業ガイドWeb（PROFILES OF COMPANIES）を新たに作成した。また、海外駐在員等を主要な購読者に持つ海外ビジネス情報に特化したWebページに海外展開を積極的に行う区内企業の取材記事を主体とした広告を掲載した。更に、令和3年度は、海外取引に必要となる安全保障貿易に関するオンラインセミナーや海外情勢を把握するセミナーを開催した。これらの事業を通じ、海外取引を志向する企業の裾野を広げ、企業間連携を深化させた。
- ・商業分野の事業では、「おおた商い・観光展2021」においては、新型コロナウイルス感染症防止対策として三密を避けるため、大田区の街全体を一つの会場と見立て、特設サイトで情報発信し、お客様（区民中心）に直接お店や観光地を訪れていただいた。
- ・区内中小企業の受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築し、検証を行っている。具体的には、データベースに対して、AIを活用した検索結果をレベルアップするため、専門家を交えてシステムの構築、検証を行っている。
- ・羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業では、令和3年10月1日にPiO PARK（ピオパーク）の本格稼働を開始し、PiO PARKの運営を通じて、区内企業の取引拡大等に向けた取り組みを展開した。

① 受・発注相談

【予算額 51,222,000円（うち区補助）50,562,000円】

【決算額 45,640,120円（うち区補助）45,298,020円】

（ア）相談業務（工業）

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
106件	受注	発注	コーディネーター：533件
96,222千円	5件	723件	シルバー人材委託：279件

（イ）発注開拓（工業）

ものづくり連携コーディネーター及び担当職員による主に区外の大手企業への発注開拓

訪問先	77件
活動成果	成約案件：32件 成約金額：23,735千円

（ウ）商談会

(a)ものづくり受発注商談会

実施日		
令和3年11月29日		
第60回ものづくり受発注商談会 in 大田		
参加企業	発注・受注	商談件数



【ものづくり受発注商談会 in 大田】

135 社	45 社・90 社	334 件
-------	-----------	-------

(エ) スマイルカーブ商談会

当商談会は、スマイル商談3ウィークとして1日限りの催事から3週間の期間を設定した個別マッチングとして実施した(オンライン商談会含む)。

名称	開催日・期間	商談先	参加企業数	商談件数
スマイルカーブ商談会 (スマイル商談3ウィーク)	令和4年 3月7日～25日	川上川下企業	17社	10件

(オ) 大田ものづくりプラットフォームデータベースの構築

区内中小企業の受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築し、検証を行っている。具体的には、データベースに対して、AIを活用した検索結果をレベルアップするため、専門家を交えてシステムの構築、検証を行っている。

② 海外取引相談事業

【予算額 20,584,000円(うち区補助)20,254,000円】

【決算額 16,883,833円(うち区補助)16,725,833円】

(ア) 窓口相談

(a) 相談件数

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国・台湾	134件	北米	87件
ASEAN	118件	その他	239件
欧州	208件	合計	786件

(b) 国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数

相手国	件数	相手国	件数
中国・台湾	64件	北米	28件
ASEAN	32件	その他	12件
欧州	64件	合計	200件

(c) 国際取引あっせん

発注案件紹介件数	成約件数	成約金額
55件	5件	5,435千円

(イ) 海外市場開拓(商談会)(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

(ウ) 海外取引セミナー及び海外市場勉強会

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和3年5月24日	「ドイツセミナー～ドイツ産業の最新動向～」 講師:日独産業協会駐日代表 吉田 一哉 氏	38人
令和3年6月25日	「アフリカビジネスセミナー」 講師:JETRO 海外調査部中東アフリカ課 課長 佐藤 丈治 氏	27人
令和3年8月30日	「台湾の経済・技術動向と日本中小企業への期待」 講師:台湾工業技術院駐日代表 楊 馬田 氏	61人

令和3年10月15日	「タイの最新経済状況と日本企業の商機」 講師:タイ王国大使館 経済・投資事務所 (BOI 東京事務所) 公使 ガノッポーン ショーティパーン 氏 参事官 吉井スターズスイニー 氏 アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 本部長 チャクリット プンパイサンチャイ 氏 部長 神谷 靖子 氏	28人
令和4年3月15日	「輸出時のルール、安全保障貿易」 講師:安全保障貿易管理促進アドバイザー 荻原 良信 氏	43人

(欧州市場勉強会(2回))

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和3年9月24日	「日欧産業協力センターについて」 講師:日欧産業協力センター 三田 氏	12人
令和3年12月5日	「バイエルン州について」 講師:バイエルン州駐日事務所 ゲルティンガー代表 田山 氏	11人

(エ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

文書翻訳サービス	23件
海外企業信用調査	10件

(オ) 広告媒体の利用

(a) 英文企業ガイドの活用

従来の冊子から Web 版として英文企業ガイド Web (PROFILES OF COMPANIES) を新たに作成した(72社申込)。また、オンライン見本市へ出展時に本ウェブをアピールした。

<https://www.pio-ota.jp/overseas-expansion/company-finder.html>

(b) eコマースの活用

海外駐在員や国際部門の担当者を主要な購読者に持つ海外ビジネス情報専門Webサイト「NNA ASIA」に、協会事業の紹介と区内中小企業2社の海外進出事例を紹介した。

https://www.nna.jp/corp_contents/adplan/2020/200515.nna

③ 大田区加工技術展示商談会

【予算額 14,614,000円 (うち区補助) 12,854,000円】

【決算額 14,675,422円 (うち区補助) 12,915,422円】

開催日	参加	来場者
令和3年7月3日	100社	1,527人
商談件数	取引成立金額	
1,175件	9,923千円	

④ 国内見本市への出展支援

【予算額 23,438,000円 (うち区補助) 18,321,000円】

【決算額 18,033,491円 (うち区補助) 15,371,602円】

(ア) ものづくり産業PR展示会

展示会名、会期及び会場	成果
第24回 関西機械要素展 令和3年10月6日～8日 インテックス大阪 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無人ブースにより出展した。	PRのみ

高精度・難加工技術展 2021 令和3年 12月1日～3日 東京ビッグサイト	相談件数 296件 成約件数 25件
第12回試作市場 令和4年3月3日～4日 大田区産業プラザ	相談件数 62件 成約件数 2件

(イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 8社

展示会名	会期及び会場	成 果
ヨコハマハンドメイドマルシェ 2021	令和3年5月8日～5月9日 パシフィコ横浜	商談件数 5件 継続案件 0件 成約件数 2件 成約金額 未回答
第25回自治体総合フェア 2021	令和3年5月12日～5月14日 パシフィコ横浜	商談件数 1件 継続案件 1件 成約件数 0件 成約金額 0円
SPORTEC	令和3年6月17日～19日 ポートメッセなごや	商談件数 53件 継続案件 5件 成約件数 0件 成約金額 0円
レンズ設計・製造展	令和3年6月30日～7月2日 パシフィコ横浜	商談件数 3件 継続案件 2件 成約件数 1件 成約金額 17千円
アジア血管外科学会	令和3年10月11日～13日 オンライン	商談件数 0件 継続案件 0件 成約件数 0件 成約金額 0円
第5回スマート工場EXPO	令和3年10月27日～29日 ポートメッセなごや	商談件数 1件 継続案件 1件 成約件数 0件 成約金額 0円
2022 国際ロボット展	令和4年3月9日～12日 東京ビッグサイト	商談件数 4件 継続案件 4件 成約件数 0件 成約金額 0円
国際鉄道模型コンベンション (JAM)	新型コロナウイルス感染症拡大 防止のため中止。	—

※成約件数及び成約金額については3月末時点。

⑤ 海外見本市への出展支援

【予算額 10,557,000円（うち区補助）10,557,000円】

【決算額 931,260円（うち区補助）931,260円】

(ア) 共同出展（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出展形態を変更）

展示会名、会期及び会場	出展形式	成 果	参加 企業
MD&M West+(米国・アナハイム) 令和3年9月13日～10月13日	オンライン出展	商談件数 2件 継続案件 0件 成約件数 0件	協会 単独出展
香港エレクトロニクスフェア(香港) 令和3年9月15日～19日	オンライン出展	商談件数 16件 継続案件 0件 成約件数 0件	協会 単独出展
FBC アセアンものづくり商談会 (タイ・ベトナム) 令和3年11月11日～12日	オンライン出展	商談件数 20件 継続案件 1件 成約件数 1件	協会 単独出展

⑥ 自主企画展示会（産業フェア）

【予算額 29,850,000円（うち区補助）25,800,000円】

【決算額 26,284,120円（うち区補助）25,347,120円】

(ア) 「おおた商い・観光展 2021」

あきない三國志プロジェクト ～コロナに打ち克ち天下を制す！～

会 期		参加事業者数	来場者数
令和3年 11月 14日～12月 12日		196 事業者 (140 社・団体、観光施設・ 銭湯 56 か所)	<ul style="list-style-type: none"> ・公式 HP アクセス数: 38,932 ・Twitter 閲覧数:86,333 ・Instagram 閲覧数:38,666 ・Facebook 閲覧数:32,240 ・QR コード読み取り総数: 2,664 ※QR ラリー応募数 216
概要	目的・内容	<p>前年度に引き続き、紙媒体及び Web 等による実店舗、観光地の魅力を紹介し、感染拡大防止対策として三密を避けながら、お客様に直接お店や観光地に訪れてもらう期間限定のキャンペーンを実施した。</p> <p>コロナ禍で経済的に大きな打撃を受けている区内の商店、観光地が、コロナに打ち克ち、街全体を盛り上げていこうとする機運を高めるため、「三國志」をモチーフに採用した。三國志の「魏・呉・蜀」を「技・娯・食」に置き換え、参加店舗・観光地を、技術を要する業種、娯楽に関わる業種、食事または食品に関わる業種に分け、お客様にそれぞれの魅力を楽しんでいただいた。</p>	
	集客拡大を図る工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区全域をカバーする MAP チラシを作成 (30,000 部)し、区施設以外に、グランデュオ蒲田3F 東西連絡通路、東急電鉄各駅、JR 蒲田西口広場のお散歩マルシェにて配布。 ・紙媒体に加え、SNSやタペストリー等も活用して参加事業者情報を発信し、区民中心の来場者に直接お店や観光地を訪れてもらう期間限定のキャンペーンを実施。 ・大田区プレミアム付デジタル商品券 利用可能事業者 68 社 ・QR コードラリーで景品が当たる企画 	
	セミナー	<p>販売戦略策定セミナー開催 テーマ:Web マーケティングで集客アップ! 売上に繋がるネット活用方法 講師:岩崎 彰吾 氏 収録日:令和3年9月8日 ※三密を避けるために、収録したものを参加事業者にて web で配信 配信日:令和3年9月 22 日</p>	
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・参加事業者同士の連携 ラーメン自販機プロジェクトをはじめ、『喫茶水木金魚』による「ご近所スタンプラリー」など独自企画を実施 ・大田観光協会のまちあるき企画 大森～羽田スタンプラリー ワタシの OTA おススメ探し～ ・大田区商店街連合会 田園調布エリアの回遊を促す WEB コンテンツを2本制作し、商い・観光展の web サイトにバナーリンク ・大田区観光情報センター 卸・製造業など 13 社が展示・販売。また、ラーメン自販機を設置し、参加事業者3社のコラボラーメンを販売 (242 食) 		 <p>【おおた商い・観光展 2021】</p>

(イ) 第26回おおた工業フェア

併催企画展「第1回OTAテック・トレードショー」

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインのみの実施)

会 期		参加事業者数	オンライン登録者数
リアル	令和4年2月3日～4日(中止)	93社(団体)	1,168名
オンライン	令和3年12月15日～令和4年2月4日		
概 要	区内中小企業の取引促進・販売拡大及び情報交換・情報交流の促進を目的に開催。		
	企画展	第1回 OTA テック・トレードショー ・新たな連携や試みから生まれた大田区発の最終製品を特集。 高付加価値の最終製品を開発・製造し新市場に挑戦する企業を紹介。	
セミナー	基調講演(オンライン)	『自動車における生産革新とものづくりの将来～次の10年に向けて』 講 師:日産自動車株式会社 総合研究所 先端材料・プロセス研究所 エキスパートリーダー 南部 俊和 氏 配信期間:令和4年2月3日 10:00～2月4日 23:59	
	特別講演①(オンライン)	『村田製作所の製造現場におけるIoT化と改善につながるデータ活用事例』 講 師:株式会社村田製作所 IOT事業推進部 m-FLIPソリューション企画開発課 シニアマネージャー 郷間 真治 氏 配信期間:令和4年2月3日 10:00～2月4日 23:59 ※アーカイブ配信は令和4年2月7日 13:00～2月28日 13:00	
	特別講演②(オンライン)	『次世代エアモビリティの社会実装とその未来』 講 師:丸紅エアロスペース株式会社 名古屋支店 小野 哲 氏 配信期間:令和4年2月3日 10:00～2月4日 23:59 ※アーカイブ配信は令和4年2月7日 13:00～2月28日 13:00	

⑦ 商い・サービス産業取引相談

【予算額 11,493,000円(うち区補助) 10,681,000円】

【決算額 8,734,771円(うち区補助) 7,905,866円】

(ア) 相談業務(商業)

専門相談員(あきない活性化コーディネーター)による区内商い関連事業者への訪問調査

訪問件数	251件
------	------

(イ) 商業展示会の共同出展

展示会名	実施日・会場	参加企業	成果
東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2021	令和3年10月13日～15日 東京ビッグサイト  【東京インターナショナル・ギフト・ショー】	7社	商談件数：249件 成約件数：3件
スーパーマーケット・トレードショー2022	令和4年2月16日～18日 幕張メッセ  【スーパーマーケット・トレードショー】	4社	商談件数：105件 成約件数：9件

(ウ) 商業者向けセミナー

実施日	内容	参加者
令和4年3月 4日～25日	テーマ:テーマ:アフターコロナにおける経営のヒント 形式:オンライン配信 講師:あきない活性化コーディネーター 近藤 光二	28名

⑧ 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業

【予算額 23,539,000円（うち区補助）22,308,000円】

【決算額 18,257,154円（うち区補助）17,327,454円】

HANEDA×PiO 内の交流空間、「PiO PARK(ピオパーク)」を令和3年10月から本格稼働させた。本空間にてイベント、コワーキング及びショーケースの機能を果たすことにより、利用者と区内中小企業との交流による付加価値の創出を図った。活性化に向けて、Eメールやチラシ配布、関係先訪問などプッシュ型の周知を積極的に行ったほか、自主開催のイベントによって利用を促進した。



【ハネダピオ 外観】

(ア) イベント

イベント件数： 66件

来場者総数：2,293名



(PiOPARKにおける主催イベント及び誘致イベントの合計)

【協会主催イベント(抜粋)】

【イベントスペースB】

1. 次世代産業創造セミナー「アバターロボット”newme (ニューミー)”の開発」
2. OTA デジタル×PiO キックオフイベント
3. 第107回東京工業大学 技術交流セミナー『エネルギー問題と ESG 経営』
4. 欧州市場勉強会
5. 稼ぐ力を伸ばす・増やす・試みる ～自社の無形資産・知的財産の戦略的活用～
6. 「知財保護と戦略的活用のためのデジタル実装について考える」
7. 海外セミナー「輸出時のルール、安全保障貿易」



【コワーキングスペース】

(イ) コワーキング

内容	利用者数
月額プラン契約件数／利用人数	4件/18名
1日フリープラン	1名
時間利用	29名
無料体験者数	76名
ゲスト来訪者数 (ショーケーシング その他)	1,971名
視察者数 (海外関係機関視察者 22名/10件含む)	282名
総来訪者数 (イベントの来訪者 2,293名含む)	4,670名

(ウ) ショーケーシング

PiO PARK 内で、コリドーに面して外部からの視認性の高いエリア(約 200 m²)をショーケーシングエリアと位置づけ、大田区企業の技術力等の発信のため以下の企画展示を実施した。

- ・「パラスポーツを支えた大田区の技」(令和3年10月1日～令和4年1月末)
- ・「Tokyo 技能五輪・アビリンピック 2021 ギャラリー」(令和4年1月中旬～1月末)
- ・「OTA! FOUNDERS' PRODUCTS ～区内創業者による製品展示～」(令和4年2月1日～3月末)

4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業 【定款第4条(4)関係】

- ・おしごとナビ大田区では、ユーザーの視点を重視したサイト作りを進め、求職者の利用を促進するとともに、求人企業の採用活動を後押しした。
- ・コロナ禍においても、若手人材を採用しようとする区内中小企業のニーズに応えるため、大学との連携により、オンライン合同企業説明会を開催した。参加企業全社の説明を受けられる方式で実施するとともに、グループ面接会でさらに理解を深める機会を設けるなど、運営の工夫を図り、3名内定の成果が出ている。
- ・内職相談では、オンラインによる申込みや関連情報のデータベース化など、デジタル化を進るとともに、求職者に対し、求人企業のニーズを意識したきめ細かいヒアリングを実施し、コロナ禍であっても、あっせん人数、あっせん率及び、採用人数、採用率は従前レベルを上回ることができた。また、付加価値があり単価の高い内職作業を発注する企業について、重点的に受注開拓を行うなど、受注額の確保に取り組んだ。

① おしごとナビ大田区

【予算額 2,153,000 円 (うち区補助) 312,000 円】

【決算額 1,211,448 円 (うち区補助) △562,896 円】

(ア) 求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営

	掲載社数・更新数等
求人広告掲載企業	123 社
新規登録企業件数	27 件

(イ) 民間広告媒体を活用したPRの実施

民間企業広告 活用件数	内 容
1 件	ドアガラス面ステッカー掲出(京急線一部車両)

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【予算額 1,001,000 円 (うち区補助) 901,000 円】

【決算額 778,928 円 (うち区補助) 758,928 円】

(ア) 都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校(高専)の教授陣と施設を活用し、中小企業の若手技術者育成を目的として実施した。基礎講座は通学型の講座として品川区と共同で実施。出前講座は大田区企業への出張型講座として実施した。

講座科目別実績

	科 目	単 位 2時間/1回	開催期間	受講者数 (大田区在勤)	
基礎講座 (大田区・品川区)	機 械	機械設計のための基礎	15 回	令和3年9月1日 ～ 10月15日	9(6) 人
		工業材料の基礎	5回	令和3年10月19日 ～ 10月29日	8(7) 人
		材料加工の基礎	6回	令和3年11月4日 ～ 11月22日	6(6) 人
		デジタルマニュファクチャリング体験講座	6回	令和3年11月24日 ～12月8日	5(2) 人
	電 気	電気回路の基礎	8回	令和3年10月1日 ～ 10月27日	6(1) 人
		シーケンス制御の基礎	10 回	令和3年10月28日 ～ 12月2日	2(2) 人
出前講座 (大田区)	基礎機械製図 (多賀電機株式会社)	2回	令和3年8月18日 ～ 8月23日	5人	

(イ) おおた少年少女発明クラブの支援

小中学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を行うおおた少年少女発明クラブ
(事務局:NPO 法人大田教育支援の会)に対し助成を行った。

内容	詳細	活動日数	参加人数
定期活動	期間:令和3年4月～令和4年3月(毎月1～2回) 場所:大田区池上会館(科学室) ・「ホバークラフト」製作及び競技会 ・「プチロボ」製作 ・「電気回路基礎」(LED、スイッチの取り付け) ・「ピカピカツリー」製作及び発表会 ・「キュートロボ」製作及び発表会	13日	24人
臨時活動	・大田区少年少女チャレンジ創造コンテスト大会 令和3年10月23日 ・ものづくり教育・学習フォーラム令和4年1月15日 ・こらぼ de アート作品展示 令和4年2月19～20日	4日	—

③ 若者と中小企業とのマッチング事業

【予算額 2,006,000円(うち区補助)2,006,000円】

【決算額 1,784,690円(うち区補助)1,784,690円】



(ア) オンライン合同企業説明会の開催

【オンライン合同企業説明会】

大学などの教育機関と連携し、オンライン上で合同企業説明会を開催し、若手求職者の就職活動の支援及び区内中小企業の人材確保の支援を行った。

実施日	内容	参加企業数	参加大学	参加者	選考※	成果
令和3年10月13日	説明会を各社2回実施し、学生は3社程度の企業説明会に参加。	9社	5大学	25名	9名	0名
令和4年2月16日	説明会を各社4回実施。学生は、4グループで、ローテーションにより全企業の説明会に参加し、その後、グループ面接会に参加。	8社	9大学	36名 (グループ面接は、16名参加)	8名	3名 (内定)

※選考は、本合同企業説明会後に、個別に企業で実施。

④ 内職あっせん・相談事業

【予算額 3,357,000 円（うち区補助）3,357,000 円】

【決算額 3,269,994 円（うち区補助）3,269,994 円】

(ア) あっせん相談

(a) あっせん・相談状況

求職状況	求人状況		あっせん状況		採用状況	問合せ状況
登録人数	事業所数	人数	事業所数	人数	人数	件数
425	168	264	265	308	219	1,554

(b) 出張相談状況 2 回開催

(イ) 求人開拓

求人企業への企業訪問	25 社
------------	------

(ウ) 普及啓発用印刷物の作成

項目	内容	回数等
内職求人開拓用 印刷物の作成・配布	蒲田・大森・雪谷法人会会報封入	約 6,000 枚
	大森青色申告会会報封入	約 2,500 枚
	区内製造業 558 社投函	1 回
内職求職者用 印刷物の作成・配布	区内図書館(17 か所)・特別出張所(16 か所)・地域庁舎 地域健康課(4 か所)にチラシ設置及びポスター掲示 年 2 回	約 2,500 枚
	大田区子育て支援課(区内児童館 57 か所を含む)・保育サービス課にチラシ設置 年 2 回	約 3,000 枚
	ハローワーク大森 マザーズコーナーにチラシ設置	約 400 枚
	大田文化の森・子ども家庭支援センター(キッズな 4 か所)にチラシ設置	約 200 枚
	大田区シルバー人材センター・大田区いきいき仕事ステーション・大田区生活再建就労サポートセンターJOBOTA にチラシ設置	約 500 枚

5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業

【定款第 4 条（5）関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成では、採択テーマがロボット・医療・福祉など多岐にわたり、開発内容はより高度化している。採択企業は、コロナ禍の影響はあったものの、概ね計画通りに開発を進めることができた。本事業を通じて、次世代産業分野を見据えた新製品・新技術開発の促進につながった。
- ・新製品・新技術コンクールでは、有望なアイデア 9 件を輩出した。最優秀賞は「搬送用 AMR:Mighty-D3」である。自律走行可能な 4 輪式搬送機で制御性が高く、15cm の段差を突破し、その場旋回・真横移動を実現した。また、コロナ禍を背景に普及した飛沫防止パネルにプロンプター（発表原稿提示装置）を組み合わせた「飛沫防止プロンプター」には、特別賞として「おおたアイデ

ア賞」を進呈した。

・次世代産業創造・産業クラスター形成事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により様々な変更を余儀なくされたものの、オンラインツールも活用した「おおた研究・開発フェア」の開催、展示会への出展、各種セミナーの開催、ヘルスケア企業と連携したオープンイノベーション、個別マッチングなど、大田区企業の次世代産業参入やイノベーション創出を後押しする事業をほぼ予定通り行い、大田区企業に次世代産業参入やイノベーション創出を後押しする効果をもたらすことができた。

① 新製品・新技術開発支援事業

【予算額 76,094,000 円（うち区補助）76,094,000 円】

【決算額 62,244,892 円（うち区補助）62,244,892 円】

(ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成

トライアル助成	助成 1 社（申込件数 2 社）
企業名	事業テーマ
株式会社ハッピーリス	オンライン診療のための嚙下機能測定端末の市場調査
開発ステップアップ助成	助成 7 社（申込件数 17 社）
企業名	事業テーマ
アロニクス株式会社	誘導加熱（IH）を利用した塗膜剥離用小型加熱ヘッドの開発
有限会社エムティプレジジョン	超高速高精度建築限界測定器の開発
株式会社フルハートジャパン	ドローン用テレメトリー／データロガー装置の開発
株式会社 OUTSENSE	平面広告、XR 広告に変わる「折り立体広告ディスプレイ」
株式会社天の技	自律型海岸漂着ゴミ運搬装置の開発
株式会社 ACTY Power	PEEK カーボン材を用いた次世代型整形外科手術用インプラントの開発
株式会社マテリアルハウス	折り畳み可能な光ダクト
実用化製品化助成	助成 8 社（申込件数 20 社）
企業名	事業テーマ
株式会社 The MOT Company	CFRP 製自動車ホイールエンブレムのプレス成形
アベテクノシステム株式会社	前腕及び手指用リハビリ装置の製品開発
株式会社ミクロン	歯科用器具の製品化

株式会社桂川精螺製作所	金属探知機に反応しない車椅子の開発
インフイテックエム株式会社	短時間に非破壊で計測可能とする磁気ノイズ法による応力計測装置の製品化
株式会社 TSS	バックバルブ駆動補助装置開発
株式会社東新製作所	5G 対応多機能スマートポールの製品化
株式会社 Piezo Sonic	エレベータ操作が可能な自律移動ロボットによる自動搬送システムの開発



【新製品・新技術コンクール
第33回パンフレット】

(イ)新製品・新技術コンクール

新製品・新技術コンクール		表彰 9 件 (申込件数 17 件)
賞名	受賞企業及び製品・技術名	
最優秀賞	株式会社 Piezo Sonic 搬送用 AMR : Mighty-D3	 【Mighty-D3】
優秀賞	トキ・コーポレーション株式会社 KINETIC LIGHT BLADE	 【KINETIC LIGHT BLADE】
	アクスモールディング株式会社 ロボット式 完全自動化 T ダイ	 【ヒートボルトユニット】
おおた アイデア賞	株式会社アシスト 飛沫防止プロンプター	
おおたネット ワーク賞	株式会社エース 急斜面对応型 半自律走行草刈ロボット	
おおた ECO推進賞	株式会社三輝 詰め替えそのまま専用パック	
おおた 秀逸技能賞	JPN 株式会社 健康ダンパー及び両絞り健康ダンパー	

奨励賞	株式会社大橋製作所 植物工場省人化設備 「移植機 OH-Sn MK II」 株式会社日特 耳掛け型 ワイヤレスヘッドセット
-----	----------------------------------------------------------------------------

② 産学連携研究開発支援事業

【予算額 3,385,000 円（うち区補助）0 円】

【決算額 3,239,087 円（うち区補助）0 円】

区内での産学連携による製品開発等を促進するため、産学連携研究開発支援施設（オオタイノベーション・ラボ）を研究開発に取り組む企業に貸与した。入居者支援についてはコーディネーターによる産学連携サポート支援を実施した。

③ 次世代産業創造・産業クラスター形成

【予算額 59,187,000 円（うち区補助）54,963,000 円】

【決算額 51,010,903 円（うち区補助）48,950,603 円】

(ア) 区内の研究開発型企业に関する情報の発信

項目	対象・内容目的等	参加社数・発行部数等
研究開発マッチングシステム「mirai」	研究開発型の区内中小企業を Web サイト上で紹介。大学等研究機関や企業の研究開発者からの共同研究や実験用機材等の製作・加工、試作品製作等のニーズと大田区中小企業とのマッチングを促進する。	156 社
大田区研究開発型企业ガイド	研究開発マッチングシステム登録企業の情報を掲載した冊子を作成。全国の大学、研究機関、企業へ送付及び各種展示会等で配布  【大田区研究開発型企业ガイド】	2,500 部
大学や企業研究機関からの技術相談	Web サイトからの問い合わせ案件数	協会宛 26 件 企業宛 45 件
展示会への出展	研究・技術開発者向けに対する会員企業PR	4 展示会
研究開発マッチングシステム登録会員企業への情報発信	会員企業に対し、区内外のセミナーやイベント、助成金、マッチング事業など、技術革新や事業拡大、新事業参入等に役立つ情報を配信	26 回
ニューズレターの配信	区内外企業、大学、研究機関等の登録者へ協会事業や各種産学連携等に関する情報を発信	26 回

(イ) 産学公相談

(a)産学連携コーディネーターによる相談業務の実施

項目	相談件数
産学公交流相談(内、医工連携相談)	722 件 (51 件)

(ウ) オープンイノベーションマッチング

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和3年5月24日～28日 令和3年6月14日～18日	大田区産業振興協会出張展示会 アルフレッサ株式会社～触ろう会～	10人 (10人)
令和3年10月25日	つくば×大田区 医療・ヘルスケア機器 ～ベンチャー企業とものづくり企業の挑戦～ Meetup	141人

(エ) 各種セミナー・ワークショップの開催

(a) 次世代産業創造・産業クラスター形成セミナー/ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和3年6月10日	第1回大田区レアアース泥開発推進勉強会 金属へのレアアース利用拡大の期待 講師:日鉄総研株式会社 調査研究事業部 産業技術部 特別研究主幹 宮前 収氏	24人 (24人)
令和3年8月25日	そのアイデアを町工場とカタチにしよう!モノづくり相談7つの “トリセツ”セミナー 講師:有限会社安久工機 常務取締役 経営企画室 田中 宙氏	50人 (38人)
令和3年10月8日	アバターロボット“newme(ニューミー)”の開発 講師:avatarin 株式会社 レベニューマネジメント部 シニアマネージャー 筒 雅博氏	14名 (12名)
令和3年10月15日	樹脂 3D プリンターの進化と求められる技術 講師:東京工業大学 工学院 機械系 助教 博士(工学) 中川 佑貴 氏	19名 (17名)
令和3年12月2日	エネルギー問題とESG経営 講師:東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 後藤 美香 氏	19名 (17名)
令和4年3月4日	「令和3年度大田区医工連携勉強会 ～法規制が参入障壁ってそれホント?～」 講師:薬事コンサルタント 高橋邦夫氏 岐阜精器工業株式会社 波多野慎平氏	7社 (7社)

(b) 意匠デザイン・ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和3年8月5日	第1回デザイン思考で始めるものづくりワークショップ 講師:東京工科大学 コンピューターサイエンス学部 准教授 森本千佳子氏 デザイン学部 教授 本郷信二 氏	21人 (5人)
令和3年9月7日	第2回デザイン思考で始めるものづくりワークショップ 講師:東京工科大学 コンピューターサイエンス学部 准教授 森本千佳子氏 デザイン学部 教授 本郷信二 氏	15人 (5人)

(オ) おおた研究・開発フェア

実施事業及び開催日	出席者数、商談件数等
第 11 回 おおた研究・開発フェア ONLINE 令和 3 年 10 月 7 日、8 日	出展者数:76 社・団体 登録者数:1,419 人 商談件数:198 件(うち、可能性の高い商談件数 38 件) ※特設ウェブサイトは令和 3 年 12 月 31 日まで公開  【第 11 回おおた研究・開発フェア】
特別講演① 令和 3 年 10 月 22 日	テーマ:国際水素サプライチェーン構築に向けた取組み 講 師:川崎重工業株式会社 水素戦略本部 プロジェクト総括部長 新道 憲二郎氏 会 場:オンライン(アーカイブ配信) 再生回数:676 回
特別講演② 令和 3 年 10 月 23 日	テーマ:スーパーカミオカンデとハイパーカミオカンデの挑戦 講 師:東京大学 宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設 准教授 関谷 洋之氏 会 場:オンライン(アーカイブ配信) 再生回数:319 回

(カ) 新産業分野の展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成 果
スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス 2021	令和 3 年 11 月 12 日～14 日 オンライン	相談件数 10 件 可能性高 6 件
nano tech 2022 第 21 回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議	令和4年1月 26 日～1月 28 日 東京ビッグサイト	相談件数 33 件 可能性高 5 件
N-PLUS(環境配慮型素材展)	令和 4 年 2 月 2 日～2 月 4 日 東京ビッグサイト	相談件数 56 件 可能性高 6 件
2022 国際ロボット展	令和 4 年 3 月 9 日～3 月 12 日 東京ビッグサイト	相談件数 33 件 可能性高 5 件

(キ) 知財マッチングの実施

区内大手企業とのマッチング会の実施(継続中)

6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業

【定款第 4 条 (6) 関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・加入紹介キャンペーンや LINE お友達登録による情報発信、シルバー人材センターを通じた営業活動等による戦略的な取り組みを行った。
- ・大田区らしい新サービスとして、区内での消費を促すとともに、区内の魅力を知っていただ

くため、大田のお土産100選認定商品や、いちおしグルメ表彰店舗、HICity 飲食店（コラボ企画）等のクーポン券の発行を行った。

① 加入促進事業

【予算額 13,066,000 円（うち区補助）4,556,000 円】

【決算額 11,004,606 円（うち区補助）4,342,145 円】



【大田区勤労共済 ホームページ】

(ア) 勤労者共済事業の周知

大田区勤労共済会報「ふれあい」を全8頁フルカラーで発行した。

【会報誌「ふれあい」】

発行回数	発行部数
年10回	各号4,600部



【会報誌「ふれあい」】

(イ) 会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集リーフレットや入会案内冊子を活用した加入促進員による個別訪問を継続実施中
共済会員入会推移

	平成31年3月末 (平成30年度)	令和2年3月末 (令和元年度)	令和3年3月末 (令和2年度)	令和4年3月末 (令和3年度)
事業所(社) (前年度対比)	1,581 (-36)	1,529 (-52)	1,451 (-78)	1,380 (-71)
会員(人) (前年度対比)	4,457 (-82)	4,410 (-47)	4,255 (-155)	4,055 (-200)

② 福利厚生事業

【予算額（自主）35,762,000 円】

【決算額（自主）30,345,198 円】

(ア) 健康の維持増進に関する事業

スポーツ施設や人間ドック等の利用補助、インフルエンザ予防接種費用助成を行った

人間ドック・ミニドック	利用補助	58件
インフルエンザ予防接種	〃	263件
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	1,060セット
区営プール利用券	〃	352枚
区営スポーツセンター	〃	9セット

(イ) レクリエーション事業

バスツアーの利用あっ旋・補助の実施

バスツアー補助	8件
---------	----

(ウ) 宿泊補助と生涯学習利用に関する補助

ライフサポート倶楽部の宿泊施設の利用に対し合計 6 泊まで 1 泊につき 2,000 円の補助を実施

ライフサポート倶楽部宿泊補助	225 件
----------------	-------

(エ) 契約施設等の利用

他区 9 つの勤労者サービスセンターと共同し、レジャー施設や日帰り温泉施設の利用補助券並びに割引券を配布したほか、会員に好評であった「いちおしグルメ表彰店舗」で利用できる割引券やゴルフ、文化振興協会主催事業の利用補助券を発行した。また、区内商店を中心に会員証呈示で特典が受けられる指定店を増やした。

レジャー施設等	1,088 枚	潮干狩り	6 枚
東京ディズニーリゾート	752 枚	いちおしグルメ補助	285 件
大田のお土産 100 選	808 件	HICity 補助	916 件
釣り船	46 枚	天然温泉平和島	45 枚
ゴルフ場	23 枚	文化振興協会	18 枚

(オ) 各種チケットの割引あっせん

都内・近県のホテルやレストラン等バラエティに富んだ食事券や、映画、観劇、コンサート、美術館等のチケットをあっせんした。スポーツでは、プロ野球、サッカーJリーグ、大相撲のチケットをあっせんした。

映画鑑賞チケット	3,417 枚	大相撲観戦チケット	42 枚
スパ	689 枚	スポーツ観戦チケット	48 枚
東京ドームシティ 得10チケット	112 枚	美術展チケット	330 枚
プリペイドカード	1,815 枚	東武動物公園法人 アトラクションパスセット	139 枚
食事券(施設利用購入分)	657 枚	おふろの王様	189 枚
鑑賞券(演劇・音楽等)	259 枚		

③ 給付事業

【予算額 (自主) 8,700,000 円】

【決算額 (自主) 6,468,700 円】

(ア) 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝金	118 件	計 254 件
見舞金	37 件	
弔慰金	99 件	

(イ) 入学祝・継続会員記念品の贈呈（5年継続、10年継続毎）

入学祝	179件	計 626件
5年継続	271件	
10年継続	112件	
20年継続	20件	
30年継続	44件	

7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業 【定款第4条（7）関係】

〔重点取組み事項〕

・大田区産業プラザの指定管理者として、利用者の安全を最優先するための危機管理体制を強化しつつ、効率的な施設の管理運営に努め、修繕工事等も適切に実施した。また、区内産業振興や地域貢献に寄与するため、MICE推進活動として学会等の催事を積極的に誘致した。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、施設の臨時閉館や各会場の収容人数の制限等、利用者の感染拡大防止に取り組んだ。さらに、令和3年8月から11月まで大展示ホールが新型コロナウイルスワクチン接種会場として利用された。

令和4年度からの指定管理のため、2階コワーキングスペース（biz BEACH CoWorking）の引継ぎの準備を行った。

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【予算額（利用料金）202,959,000円】

【決算額（利用料金）102,965,293円】

- ・産業プラザ施設利用状況： <別表A>
- ・施設利用収入状況： <別表B>

昨年に引き続き、コロナ禍においても利用者が安心して使用できる施設であるために「感染拡大防止に向けた利用条件等」のガイドラインや「新型コロナウイルス感染症拡大防止確認事項」について、主催者への周知徹底に努めた。また、郵送による施設利用の抽せんや区内中小企業が製作した足踏み式消毒スタンドやアクリルパネルの設置を継続し、新型コロナウイルス感染症対策に努めた。コンベンションホール特定天井改修工事に合わせ、音響設備改修工事を実施し、利便性向上に努めた。

施設の災害対策として、館内職員を対象とした避難訓練及び消火訓練を行い、防災センターをはじめとする館内職員の危機管理能力の向上を図った。災害への備えとして利用者対応用の災害備蓄品を追加購入し充実を図った。

② 施設貸与に伴う付加サービス事業

【予算額（自主）3,992,000円】

【決算額（自主）2,298,729円】

施設利用者の利便性を高め、利用率の向上に資するため、イベントサポートガイドPiO倶楽部及びPiO周辺マップの発行、サイン看板等作成サービス、利用者用コピーサービス、催事ごみ処理サービス、トランシーバー貸出、特殊簡易公衆電話、公衆型充電器等のサービスを実施した。

③ 産業プラザ施設維持の管理運営

【予算額 (受託) 57,643,000 円】

【決算額 (受託) 53,832,726 円】

築 26 年が経過しており、老朽化による故障が頻発している。協会では、受託業務の範囲での維持補修工事を実施した。また、大田区発注のコンベンションホール特定天井改修や 1・2 号エレベーター更新等の工事が円滑に実施されるよう関係各所と連携・調整等を行った。

実施した維持補修等の工事

工事名	
・受変電設備プロテクターヒューズ交換	・大展示ホール及び出入口風除室雨漏り修理
・温水ポンプインバータ交換	・屋上冷却塔整備・部品交換
・感雨器及び水質自動管理装置交換	・コージェネ発電機煤煙測定用フランジ新設
等 70 件	

大田区が長期修繕計画等に基づき実施した工事等

工事名	
・コンベンションホール特定天井改修等	・コージェネレーションシステム更新
・1・2号エレベーター更新	・第3次改修計画見直し業務
・屋上広場目隠し壁撤去	

令和3年度 産業プラザ施設利用状況 <別表A>

(1) 展示ホール

施設名	前 半 9:00~14:00		後 半 14:00~19:00		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利用率		利用率			
大展示ホール	332	234	332	236	70.7%	427,381
	70.4%		71.0%			
小展示ホール	332	136	332	145	42.3%	49,755
	40.9%		43.6%			
合 計 (1)						477,136

(2) コンベンションホール・会議室他

施設名	午 前		午 後		夜 間		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利用率		利用率		利用率			
コンベンションホール	30	0	30	0	30	0	0%	0
	0%		0%		0%			
A 会議室	332	271	332	273	332	200	74.6%	21,173
	81.6%		82.2%		60.2%			
B 会議室	332	269	332	273	332	197	74.1%	22,345
	81.0%		82.2%		59.3%			
C 会議室	332	194	332	247	332	81	52.4%	11,339
	58.4%		74.3%		24.3%			

D会議室	332	231	332	238	332	121	59.2%	18,464
	69.5%		71.6%		36.4%			
E会議室	332	196	332	219	332	73	48.9%	5,645
	59.0%		65.9%		21.9%			
F会議室	332	251	332	217	332	106	57.6%	5,068
	75.6%		65.3%		31.9%			
G会議室	332	207	332	217	332	76	50.2%	5,882
	62.3%		65.3%		22.8%			
特別会議室	332	175	332	185	332	68	42.9%	13,632
	52.7%		55.7%		20.4%			
和室	332	133	332	161	332	41	33.6%	3,440
	40.0%		48.4%		12.3%			
合 計 (2)								106,988
総合計 (1) + (2)								584,124

施設利用収入状況 <別表B>

利用料金収入	84,654,766円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料： 31,809,561円 ・前年度収納分： 47,901,005円 ・駐車場利用料： 4,944,200円

◆理事会・評議員会

●理事会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第34条第1項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、各々承認を得た。

第1回 ※	決議のあった日 令和3年5月13日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告について ・令和2年度決算の承認について ・令和3年度第1次補正予算について ・定時評議員会の開催について
第2回 ※	決議のあった日 令和3年6月1日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・代表理事である理事長の選定について
第3回	令和3年7月8日 出席理事 6名 欠席理事 1名 同席監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度第2補正予算について ・評議員選定委員の選任について ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
第4回 ※	決議のあった日 令和3年8月12日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度第3次補正予算について

第5回 ※	決議のあった日 令和3年10月8日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	・令和3年度第4次補正予算について
第6回	令和3年11月18日 出席理事 7名 欠席理事 0名 同席監事 2名	・基本財産の運用について ・令和3年度第5次補正予算について ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
第7回 ※	決議のあった日 令和3年12月21日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	・職員の給与等に関する各規程の改正について ①職員の給与等に関する規程 ②就業規則第19条2項の規定により嘱託員として再雇用された職員の服務及び給与等に関する規程
第8回 ※	決議のあった日 令和4年3月23日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	・臨時評議員会の開催について
第9回	令和4年3月29日 出席理事 8名 欠席理事 0名 同席監事 2名	・令和3年度第6次補正予算について ・令和4年度事業計画及び収支予算について ・公益財団法人大田区産業振興協会 事務局の組織及び処務に関する規程の改正について ・評議員選定委員の選任について ・業務執行理事である専務理事の選定について ・事務局長の承認について ・臨時評議員会の開催について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第37条に基づき、決議を行った理事会である。

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第21条に基づき、決議を行った評議員会は次のとおりである。

定時 評議員会	決議のあった日 令和3年5月28日 同意した評議員 7名	・役員（理事、監事）の選任について ・令和2年度事業報告について ・令和2年度決算の承認について
臨時 評議員会	決議のあった日 令和4年3月25日 同意した評議員 7名	・役員（理事、監事）の選任について

●評議員選定委員会

1	令和3年6月4日 出席委員 5名 欠席委員 0名	・評議員の選任
2	令和3年7月14日 出席委員 5名 欠席委員 0名	・評議員の選任

◆コロナ対策

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び職場内環境強化のため、協会職員は令和3年5月13日から9月28日の8回にわたり延べ245名が内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室のPCRモニタリング検査を受診した。

- ・東邦大学医学部地域連携感染制御学講座 舘田一博教授の大田区職員感染症対策講座の視聴を行った。また、各イベント実施の際には感染症予防について、舘田一博教授の助言をいただいた。

◆協会組織強化

- ・内部統制を図るため、公益財団法人大田区産業振興協会すべての業務に対しての業務手順書を作成した。

◆研修

協会内研修

研修名	開催日	対象者	目的	参加人数
新任研修	令和3年 4月1日 令和4年 1月4、6日	新任職員等	協会の基礎知識、会計、契約、文書、服務、規程、セキュリティ等について学ぶ。	7人
新型コロナウイルス感染症対策講座	令和3年 4月5日	協会全職員	新型コロナウイルス感染症に関する知識や動向、今後の対策等について学ぶ。	42人
新任研修	令和3年 ① 4月21日 ② 12月20日	新規職員	大田区職員新任研修の前期、後期聴講受講。	① 3人 ② 3人
公共交通の現状	令和3年 6月21日	協会全職員	コロナ禍における交通輸送事情の現状を学ぶ。	21人
HANEDA×Pi0 活用研修	令和3年 9月16、22日	協会全職員	HANEDA×Pi0 の今後の展開について認識を深め、ベクトルを合わせる。	64人
大田区の産業特性と産業施策について	令和4年 1月17日	令和2年度以降の新任職員	大田区の産業についての基礎知識と区産業経済部との連携、羽田 Pi0 等の新たな事業展開について学ぶ。	19人

その他、職層研修等は民間の開催する研修へ参加。

令和3年度

公益財団法人大田区産業振興協会

決算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

目 次

1 財 務 諸 表

(1) 貸 借 対 照 表	1
(2) 正味財産増減計算書	2
(3) 正味財産増減計算書内訳書	7
(4) 財務諸表に対する注記	13
(5) 付 属 明 細 書	15
(6) 財 産 目 録	16
(7) 監 査 報 告 書	20

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	222,934,305	201,793,463	21,140,842
未収金	26,243,862	110,039,237	△ 83,795,375
前払金	426,157	2,639,315	△ 2,213,158
流動資産合計	249,604,324	314,472,015	△ 64,867,691
2 固定資産			
① 基本財産			
投資有価証券	400,000,000	400,000,000	0
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	500,000,000	500,000,000	0
② 特定資産			
退職給付引当資産	10,089,374	11,094,579	△ 1,005,205
運営資金等積立資産	102,378,340	102,378,340	0
給付金等準備積立資産	58,916,840	55,612,921	3,303,919
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	44,160,157	0
特定資産合計	215,544,711	213,245,997	2,298,714
③ その他固定資産			
什器備品	3,325,944	3,479,090	△ 153,146
電話加入権	74,984	74,984	0
出資金	10,000	10,000	0
長期前払金	23,673	43,964	△ 20,291
その他固定資産合計	3,434,601	3,608,038	△ 173,437
固定資産合計	718,979,312	716,854,035	2,125,277
資産合計	968,583,636	1,031,326,050	△ 62,742,414
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	158,166,150	201,445,086	△ 43,278,936
未払消費税	1,525,000	3,530,800	△ 2,005,800
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	2,333,326	2,628,711	△ 295,385
前受金	28,525,448	48,363,335	△ 19,837,887
賞与引当金	8,269,000	8,628,000	△ 359,000
流動負債合計	198,888,924	264,665,932	△ 65,777,008
2 固定負債			
長期預り金	900,000	900,000	0
退職給付引当金	10,089,374	11,094,579	△ 1,005,205
固定負債合計	10,989,374	11,994,579	△ 1,005,205
負債合計	209,878,298	276,660,511	△ 66,782,213
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	500,000,000	500,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(500,000,000)	(500,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	258,705,338	254,665,539	4,039,799
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(205,455,337)	(202,151,418)	(3,303,919)
正味財産合計	758,705,338	754,665,539	4,039,799
負債及び正味財産合計	968,583,636	1,031,326,050	△ 62,742,414

令和3年度 正味財産増減計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
① 基本財産運用益	2,591,202	2,616,048	△ 24,846
1 基本財産受取利息	2,591,202	2,616,048	△ 24,846
② 特定資産運用益	3,282,626	119,847	3,162,779
1 特定資産受取利息	3,282,626	119,847	3,162,779
③ 事業収益	150,730,384	139,162,186	11,568,198
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業収益	37,500	0	37,500
(1) 産業情報受発信事業に関する事業収益	37,500	0	37,500
2 区内中小企業の経営支援に関する事業収益	1,794,100	2,392,000	△ 597,900
(1) 中小企業情報化支援事業に関する収益	1,794,100	1,672,000	122,100
(2) 大田のお土産100選事業に関する収益	0	720,000	△ 720,000
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業収益	7,616,294	4,595,125	3,021,169
(1) 受・発注相談に関する収益	341,000	371,500	△ 30,500
(2) 海外取引相談事業に関する収益	158,000	0	158,000
(3) 大田区加工技術展示商談会に関する収益	1,760,000	0	1,760,000
(4) 国内見本市への出展支援に関する収益	2,661,889	3,871,625	△ 1,209,736
(5) 自主企画展示会に関する収益	937,000	352,000	585,000
(6) 商い・サービス産業取引相談に関する収益	828,905	0	828,905
(7) 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業に関する収益	929,500	0	929,500
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業収益	1,794,344	1,528,146	266,198
(1) おしごとナビ大田区に関する収益	1,774,344	1,488,146	286,198
(2) 中小企業次世代ものづくり人材育成事業に関する収益	20,000	40,000	△ 20,000
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業収益	6,379,200	6,392,400	△ 13,200
(1) 産学連携研究開発支援事業に関する収益	4,320,000	4,320,000	0
(2) 次世代産業創造事業に関する収益	2,059,200	2,072,400	△ 13,200
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業に関する収益	47,113,170	41,741,230	5,371,940
(1) 共済掛金等の収益	25,513,300	26,529,600	△ 1,016,300
(2) 余暇活動等の収益	21,599,870	15,211,630	6,388,240
7 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益	85,995,776	82,513,285	3,482,491
(1) 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益 (利用料金制度対象)	84,654,766	80,919,634	3,735,132
(2) 産業プラザ展示ホール等の管理運営収益 (施設貸与に伴う付加サービス対象)	1,341,010	1,593,651	△ 252,641

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
④ 補助金等収益	767,214,397	955,524,011	△ 188,309,614
1 区補助金収益	684,916,000	720,069,000	△ 35,153,000
(1) 事業費補助分	386,297,000	433,907,000	△ 47,610,000
(2) 運営費補助分	298,619,000	286,162,000	12,457,000
2 国等補助金収益	6,344,870	0	6,344,870
(1) 中小企業知的財産活動支援事業補助金収益	6,344,870	0	6,344,870
3 区受託事業収益	75,953,527	235,455,011	△ 159,501,484
(1) 創業支援施設等の管理運営収益	0	28,653,000	△ 28,653,000
(2) 産業プラザ施設維持の管理運営収益	57,643,000	58,159,000	△ 516,000
(3) 大田区障がい者スポーツ用具製品(車いす)開発事業受託料収益	0	9,510,000	△ 9,510,000
(4) 羽田区施策活用スペース運営業務受託料収益	0	28,985,000	△ 28,985,000
(5) 事業承継個別相談業務受託料収益	0	500,000	△ 500,000
(6) 産業プラザ展示ホール等の管理運営に係る補填金	18,310,527	109,648,011	△ 91,337,484
⑤ 受取寄附金収益	300,000	472,437	△ 172,437
1 受取寄附金収益	300,000	472,437	△ 172,437
⑥ 雑収益	77,964	164,491	△ 86,527
1 受取利息	2,587	118,241	△ 115,654
2 受取配当金	4,645	4,815	△ 170
3 雑収益	70,732	41,435	29,297
経常収益計	924,196,573	1,098,059,020	△ 173,862,447

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 經常費用			
① 事業費	833,500,431	952,577,375	△ 119,076,944
報酬	98,897,465	87,747,829	11,149,636
委員報酬	210,000	190,000	20,000
役員報酬	2,858,870	1,432,006	1,426,864
給料手当	202,106,416	201,331,664	774,752
退職給付費用	0	117,612	△ 117,612
福利厚生費	48,177,928	49,588,496	△ 1,410,568
会議費	31,142	30,572	570
旅費交通費	1,238,138	996,335	241,803
通信運搬費	2,210,008	2,721,479	△ 511,471
消耗什器備品費	3,544,732	14,123,202	△ 10,578,470
消耗品費	10,753,628	14,574,265	△ 3,820,637
修繕費	48,492,020	14,411,140	34,080,880
印刷製本費	10,794,514	9,473,228	1,321,286
燃料費	96,871	89,736	7,135
光熱水料費	0	2,395,551	△ 2,395,551
賃借料	21,313,625	24,512,654	△ 3,199,029
情報使用料	8,231,714	7,030,370	1,201,344
保険料	807,530	802,108	5,422
諸謝金	20,714,978	24,844,828	△ 4,129,850
租税公課	4,066,089	4,937,932	△ 871,843
負担金	21,684,597	92,477,524	△ 70,792,927
助成金	91,263,011	117,897,548	△ 26,634,537
委託費	188,824,069	239,516,495	△ 50,692,426
宣伝広告費	9,046,303	7,305,852	1,740,451
利用補助費	3,270,270	2,106,472	1,163,798
施設利用券購入費	25,666,609	23,621,846	2,044,763
給付金	6,468,700	6,142,500	326,200
渉外費	11,094	42,311	△ 31,217
雑費	2,567,379	2,058,296	509,083
減価償却費	152,731	57,524	95,207
② 管理費	7,724,842	6,742,746	982,096
委員報酬	40,000	20,000	20,000
役員報酬	638,730	696,794	△ 58,064
給料手当	4,727,635	4,051,247	676,388
退職給付費用	0	2,400	△ 2,400
福利厚生費	1,126,969	1,012,010	114,959
会議費	4,504	0	4,504
旅費交通費	1,113	1,249	△ 136
通信運搬費	10,658	10,470	188
費用弁償	76,649	74,046	2,603

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗什器備品費	2,043	6,798	△ 4,755
消耗品費	22,300	27,436	△ 5,136
修繕費	183,176	391	182,785
印刷製本費	2,535	2,175	360
燃料費	1,771	1,246	525
賃借料	106,690	77,495	29,195
情報使用料	106,418	85,166	21,252
保険料	15,314	14,752	562
諸謝金	43,190	69,455	△ 26,265
租税公課	10,711	7,218	3,493
負担金	312,157	245,391	66,766
委託費	251,296	312,261	△ 60,965
宣伝広告費	4,717	4,968	△ 251
渉外費	306	1,089	△ 783
雑費	35,545	18,300	17,245
減価償却費	415	389	26
③ 大田区返納金	79,936,706	134,088,989	△ 54,152,283
1 区補助金分	76,126,432	116,842,733	△ 40,716,301
(1) 事業費補助分	45,501,823	80,563,605	△ 35,061,782
(2) 運営費補助分	30,624,609	36,279,128	△ 5,654,519
2 区からの受託事業費	3,810,274	17,246,256	△ 13,435,982
(1) 創業支援施設等の管理運営費	0	4,665,656	△ 4,665,656
(2) 産業プラザ施設維持の管理運営費	3,810,274	4,510,084	△ 699,810
(3) 大田区障がい者スポーツ用具製品(車いす)開発事業	0	469,323	△ 469,323
(4) 羽田区施策活用スペース運営業務	0	7,601,193	△ 7,601,193
経常費用計	921,161,979	1,093,409,110	△ 172,247,131
当期経常増減額	3,034,594	4,649,910	△ 1,615,316

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益	1,005,205	411,260	593,945
退職給付引当金取崩額	1,005,205	411,260	593,945
(2)経常外費用	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期経常外増減額	1,005,205	411,260	593,945
当期一般正味財産増減額	4,039,799	5,061,170	△ 1,021,371
一般正味財産期首残高	254,665,539	249,604,369	5,061,170
一般正味財産期末残高	258,705,338	254,665,539	4,039,799
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金等	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	758,705,338	754,665,539	4,039,799

令和3年度 正味財産増減計算書内訳書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計		収 1 産学連携研究開発 支援施設管理運営	収 2 産業プラザの指定管理 に伴う付加サービス 事業
	公 1 区内中小企業の振興 を図る事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収益	1,728,332	1,728,332	0	0
基本財産運用収入	1,728,332	1,728,332	0	0
② 特定資産受取利息		0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0	0
③ 事業収益	88,754,656	88,754,656	4,320,000	1,341,010
支援事業収入等	88,754,656	88,754,656	4,320,000	1,341,010
④ 受取補助金等収益	670,185,870	670,185,870	0	0
受取大田区補助金	647,320,000	647,320,000	0	0
受取国補助金	6,344,870	6,344,870	0	0
受取大田区受託料	16,521,000	16,521,000	0	0
⑤ 受取寄附金	300,000	300,000	0	0
寄附金収入	300,000	300,000	0	0
⑥ 雑収益	77,964	77,964	0	0
雑収入	70,732	70,732	0	0
受取利息収入	2,587	2,587	0	0
受取配当金収入	4,645	4,645	0	0
経常収益計	761,046,822	761,046,822	4,320,000	1,341,010
(2) 経常費用				
事業費	692,709,436	692,709,436	3,237,568	2,308,350
報酬	98,897,465	98,897,465	0	0
委員報酬	0	0	0	0
役員報酬	2,598,078	2,598,078	0	0
給料手当	166,058,196	166,058,196	886,432	590,954
福利厚生費	39,584,789	39,584,789	211,307	140,871
会議費	31,142	31,142	0	0
旅費交通費	1,192,209	1,192,209	0	0
通信運搬費	2,097,885	2,097,885	0	41,209
消耗什器備品費	3,166,617	3,166,617	0	0
消耗品費	6,376,235	6,376,235	0	45,771
修繕費	20,805,188	20,805,188	1,287,770	20,900

(単位：円)

収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計
他1	他2	他3	小計			
区内中小企業勤労者の福祉向上を図る事業	産業プラザの指定管理に伴う公益目的外貸出に伴う事業	大田区産業プラザ施設の維持・管理				
0	0	0	0	862,870		2,591,202
0	0	0	0	862,870		2,591,202
1,377,911	0	0	1,377,911	1,904,715		3,282,626
1,377,911	0	0	1,377,911	1,904,715		3,282,626
47,113,170	9,201,548	0	61,975,728	0		150,730,384
47,113,170	9,201,548	0	61,975,728	0		150,730,384
29,702,000	1,789,527	57,643,000	89,134,527	7,894,000		767,214,397
29,702,000	0	0	29,702,000	7,894,000		684,916,000
0	0	0	0	0		6,344,870
0	1,789,527	57,643,000	59,432,527	0		75,953,527
0	0	0	0	0		300,000
0	0	0	0	0		300,000
0	0	0	0	0		77,964
0	0	0	0	0		70,732
0	0	0	0	0		2,587
0	0	0	0	0		4,645
78,193,081	10,991,075	57,643,000	152,488,166	10,661,585		924,196,573
70,451,673	10,991,075	53,802,329	140,790,995			833,500,431
0	0	0	0			98,897,465
210,000	0	0	210,000			210,000
260,792	0	0	260,792			2,858,870
15,660,292	1,181,909	17,728,633	36,048,220			202,106,416
3,733,085	281,742	4,226,134	8,593,139			48,177,928
0	0	0	0			31,142
45,593	336	0	45,929			1,238,138
35,306	35,608	0	112,123			2,210,008
6,768	371,347	0	378,115			3,544,732
282,131	398,064	3,651,427	4,377,393			10,753,628
606,771	1,645,905	24,125,486	27,686,832			48,492,020

科 目	公益目的事業会計			
	公 1	小 計	収 1	収 2
印刷製本費	8,894,840	8,894,840	0	492,800
燃料費	58,444	58,444	0	0
賃借料	17,851,817	17,851,817	0	252,024
情報使用料	7,680,081	7,680,081	0	0
保険料	720,922	720,922	659	440
諸謝金	20,571,914	20,571,914	0	0
租税公課	1,653,877	1,653,877	0	0
負担金	20,193,866	20,193,866	0	0
助成金	91,263,011	91,263,011	0	0
委託費	172,484,092	172,484,092	851,400	710,349
宣伝広告費	8,744,902	8,744,902	0	0
利用補助費	0	0	0	0
施設利用券購入費	0	0	0	0
給付金	0	0	0	0
渉外費	10,082	10,082	0	0
雑費	1,633,060	1,633,060	0	2,400
減価償却費	140,724	140,724	0	10,632
管理費				
委員報酬				
役員報酬				
給料手当				
福利厚生費				
会議費				
旅費交通費				
通信運搬費				
費用弁償				
消耗什器備品費				
消耗品費				
修繕費				
印刷製本費				
燃料費				
賃借料				
情報使用料				
保険料				
諸謝金				

(単位：円)

収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
他1	他2	他3	小計			
1,375,213	31,661	0	1,899,674			10,794,514
5,867	0	32,560	38,427			96,871
2,016,446	101,338	1,092,000	3,461,808			21,313,625
352,510	199,123	0	551,633			8,231,714
50,729	21,594	13,186	86,608			807,530
143,064	0	0	143,064			20,714,978
35,480	155,816	2,220,916	2,412,212			4,066,089
1,482,021	3,210	5,500	1,490,731			21,684,597
0	0	0	0			91,263,011
7,822,126	6,249,615	706,487	16,339,977			188,824,069
15,625	285,776	0	301,401			9,046,303
3,270,270	0	0	3,270,270			3,270,270
25,666,609	0	0	25,666,609			25,666,609
6,468,700	0	0	6,468,700			6,468,700
1,012	0	0	1,012			11,094
903,888	28,031	0	934,319			2,567,379
1,375	0	0	12,007			152,731
				7,724,842		7,724,842
				40,000		40,000
				638,730		638,730
				4,727,635		4,727,635
				1,126,969		1,126,969
				4,504		4,504
				1,113		1,113
				10,658		10,658
				76,649		76,649
				2,043		2,043
				22,300		22,300
				183,176		183,176
				2,535		2,535
				1,771		1,771
				106,690		106,690
				106,418		106,418
				15,314		15,314
				43,190		43,190

科 目	公益目的事業会計		収 1	収 2
	公 1	小 計		
租税公課				
負担金				
委託費				
宣伝広告費				
渉外費				
雑費				
減価償却費				
大田区返納金	71,769,045	71,769,045	0	0
経常費用計	764,478,481	764,478,481	3,237,568	2,308,350
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,431,659	△ 3,431,659	1,082,432	△ 967,340
当期経常増減額	△ 3,431,659	△ 3,431,659	1,082,432	△ 967,340
2. 経常外増減の部				
経常外収益				
退職給付引当金取崩額				
経常外費用				
法人税、住民税及び事業税				
当期経常外増減額				
他会計振替額	57,546	57,546		
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				
II 指定正味財産増減の部				
受取寄附金等				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高				

(単位：円)

収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
他1	他2	他3	小計			
				10,711		10,711
				312,157		312,157
				251,296		251,296
				4,717		4,717
				306		306
				35,545		35,545
				415		415
2,642,259	0	3,840,671	6,482,930	1,684,731		79,936,706
73,093,932	10,991,075	57,643,000	147,273,925	9,409,573		921,161,979
5,099,149	0	0	5,214,241	1,252,012		3,034,594
5,099,149	0	0	5,214,241	1,252,012		3,034,594
						1,005,205
						1,005,205
						0
						0
						1,005,205
			△ 57,546			0
						4,039,799
						254,665,539
						258,705,338
						0
						0
						500,000,000
						500,000,000
						758,705,338

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

その他の有価証券・・・取得原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・・・・定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・ 職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額のうち、当事業年度の負担額を計上している。

退職給付引当金・・・・ 職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	400,000,000	0	0	400,000,000
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	500,000,000	0	0	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	11,094,579	0	1,005,205	10,089,374
運営資金等積立資産	102,378,340	0	0	102,378,340
給付金等準備積立資産	55,612,921	3,303,919	0	58,916,840
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	0	0	44,160,157
小 計	213,245,997	3,303,919	1,005,205	215,544,711
合 計	713,245,997	3,303,919	1,005,205	715,544,711

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財 産からの充当額	うち一般正味財 産からの充当額	うち負債に対応 する額
基本財産				
投資有価証券	400,000,000	400,000,000	0	0
定期預金	100,000,000	100,000,000	0	0
小 計	500,000,000	500,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	10,089,374	0	0	10,089,374
運営資金等積立資産	102,378,340	0	102,378,340	0
給付金等準備積立資産	58,916,840	0	58,916,840	0
産業プラザ修繕等準備積立資産	44,160,157	0	44,160,157	0
小 計	215,544,711	0	205,455,337	10,089,374
合 計	715,544,711	500,000,000	205,455,337	10,089,374

- 5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	6,449,123	3,123,179	3,325,944
合 計	6,449,123	3,123,179	3,325,944

- 6 満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
基本財産			
東海東京証券 第5回群馬県公募公債(20年)	100,000,000	113,510,000	13,510,000
野村証券 第62回地方公共団体金融機構債券	100,000,000	101,352,000	1,352,000
SMBC日興証券 大阪府公募公債 第430回	100,000,000	100,320,000	320,000
SMBC日興証券 い第818号利付商工債	100,000,000	100,140,000	140,000
合 計	400,000,000	415,322,000	15,322,000

※すべて満期時における元本が保証されている円建ての債券である。

- 7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金(事業費, 運営費)	東京都大田区	0	684,916,000	684,916,000	0	-
中小企業知的財産活動支援事業補助金	関東経済産業局	0	6,344,870	6,344,870	0	-
合 計		0	691,260,870	691,260,870	0	

- 8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常外収益への振替額	該当なし

付 属 明 細 書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表の注記に記載

- 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	8,628,000	8,269,000	8,628,000	0	8,269,000
退職給付引当金	11,094,579	0	0	1,005,205	10,089,374

財 産 目 録
(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【流動資産】			
現金	手許保管	運転資金として	432,644
" (共済口)	勤労共済手許保管		240,650
" (施設口)	予約センター手許保管		512,770
普通預金	みずほ銀行 蒲田支店	運転資金として	164,368,515
	" 共済		20,349,059
	" 施設使用料		23,800,366
	" 給料		595
	" 給油		27,132
	" 産業施設		0
	" 国補助		3,003,787
	三菱UFJ銀行 蒲田支店		761,297
	さわやか信用金庫 東糞谷支店		3,068,182
	中央労金 蒲田支店		16,845
	共立信用組合 蒲田支店		5,352,039
	城南信用金庫 蒲田支店		1,000,424
未収金	産業プラザ管理運営経費	大田区補填金	18,310,527
	中小企業知的財産活動支援事業補助金	事業補助金	6,344,870
	国内見本市共同出展負担金	展示会出展料	889,165
	勤労者共済事業	収納代行料	484,800
	羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業収入	PiO PARK利用料	135,300
	その他		79,200
前払金	自動車リース料	令和4年度分	28,050
	年会費(日本機械学会)	"	45,000
	郵券等購入費	"	316,597
	その他	"	36,510
流動資産合計			249,604,324

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【固定資産】			
(基本財産)	第5回群馬県公募公債(20年)		100,000,000
	第62回地方公共団体金融機構債券		100,000,000
	大阪府公募公債 第430回		100,000,000
	い第818号利付商工債		100,000,000
	共立信用組合 蒲田支店 定期預金		100,000,000
(特定資産)			
退職給付引当資産	みずほ銀行 蒲田支店 普通預金	退職金の支払に備えた引当資産	10,089,374
	みずほ銀行 蒲田支店 定期預金	退職金の支払に備えた引当資産	0
運営資金等積立資産	共立信用組合 蒲田支店 定期預金	運営資金として保有し運用益を各中小企業支援に係る事業等の財源として使用	22,378,340
	第157回利付国債20年		50,000,000
	第179回利付国債20年		20,000,000
	大和ネクスト銀行 定期預金		10,000,000
給付金等準備積立資産	第157回利付国債20年	勤労者共済事業の給付金等の支出に備え保有し運用益を勤労共済事業の財源として使用	50,000,000
	さわやか信金 東糞谷支店 普通預金		8,916,840
産業プラザ修繕等準備積立資産	みずほ銀行 蒲田支店 定期預金	大田区産業プラザの修繕等に備え保有し、運用益を各中小企業支援に係る事業の財源として使用	14,160,157
	共立信用組合 蒲田支店 定期預金		30,000,000
什器備品	事務室・サーバー (IBM X3200) 一式	各事業の実施のための事務に供する備品	10,079
	事務室耐火金庫・書類棚	各事業の実施のための事務に供する備品	2,272
	予約センター・携帯用無線機	大田区産業プラザ利用者サービスに供する備品	6,790
	特殊簡易公衆電話	大田区産業プラザ利用者サービスに供する備品	6,803
	美術品・書「山の湖」	寄付により受け入れた大田区産業プラザ利用者サービスに供する書	2,500,000
	美術品・書「養浩」		800,000
電話加入権	1回線分		74,984
出資金	中央労働金庫		10,000
長期前払金	い第818号利付商工債	購入時の前払金	23,673
固定資産合計			718,979,312
資産合計			968,583,636

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【流動負債】			
未払金	明細は別紙「未払金内訳書」による		158,166,150
未払消費税			1,525,000
未払法人税等			70,000
預り金	源泉徴収所得税	令和4年3月人件費分	845,759
	特別徴収住民税	令和4年3月分	785,800
	健康保険料	〃	236,565
	厚生年金保険料	〃	441,299
	介護保険料	〃	23,903
前受金	産学研究支援施設利用料	令和4年度分	180,000
	大田区産業プラザ施設等利用料金等	〃	28,260,448
	勤労者共済事業収入	〃	85,000
賞与引当金		賞与の支払いに備えた引当金	8,269,000
流動負債合計			198,888,924
【固定負債】			
退職給付引当金		退職金の支払いに備えた引当金	10,089,374
長期預り金		産学連携研究開発支援施設敷金	900,000
固定負債合計			10,989,374
負債合計			209,878,298
正味財産			758,705,338

令和3年度未払金内訳書

内 容		金 額
1	大田区返納金	79,936,706
2	新製品・新技術開発支援事業助成金16件	36,894,000
3	PiOフロント改修工事費	5,346,000
4	次世代産業創造事業 コーディネーター報酬3月分	3,808,906
5	ものづくり取引促進事業 コーディネーター報酬3月分	2,654,232
6	職員社会保険料3月分	2,318,192
7	大田区産業プラザ 建物管理経費3月分	1,991,885
8	人材派遣委託料3月分	1,774,254
9	コワーキングスペースウェブサイト制作委託料	1,540,000
10	職員人件費等3月分	1,471,026
11	企業PR動画制作委託料	1,394,250
12	勤労者共済事業施設利用券購入費等	1,187,560
13	産学連携研究開発支援施設エアコン等撤去工事費	1,104,400
14	大田区産業プラザ 会場設営委託料3月分	1,073,974
15	PiO PARK サポート業務委託料3月分	1,010,900
16	PiOフロント改修設計費用	891,000
17	産業プラザ館内サイン変更工事費	850,850
18	大田ものづくりプラットフォーム保守料3月分	770,000
19	大田ものづくりプラットフォームアドバイザー報酬3月分	768,000
20	創業者支援事業 創業相談員報酬3月分	635,919
21	ビジネスサポートサービス事業専門家謝金3月分	600,750
22	若手技術者支援基礎講座、出前講座実施委託料	508,847
23	コワーキングスペース準備用品購入費	498,439
24	PiOフロント準備用品購入費	461,219
25	大田の工匠技術・技能継承 総合版動画制作費	440,000
26	予約センターLAN配線等工事費	407,000
27	産業プラザ予約システム保守料3月分	386,100
28	デザイン相談業務委託料3月分	273,600
29	ワークフローシステム次年度マスターデータ変更作業委託料	242,000
30	PiO PARK案内用シール等制作費	231,550
31	産業プラザ1階女子トイレ改修工事費	209,000
32	共済システム改修委託料	167,860
33	共済システムリース料3月分	137,849
34	その他	6,179,882
合 計		158,166,150

監 査 報 告 書

令和4年5月10日

公益財団法人大田区産業振興協会

理事長 川野正博様

監事 望月正芳 

監事 佐々木信久 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度における理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告書について、検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等及びその附属明細書並びに財産目録等について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 組織の運営及び事業は、経営理念に則り、各種規程を遵守し適切に執行されているものと認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) その他

大田区の所管部局とより十分な連携を図り、さらに事業の効率化に努めてください。

以上

令和4年度

公益財団法人大田区産業振興協会

事業計画書及び収支予算書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日



公益財団法人大田区産業振興協会

目 次

1 基本方針	P. 1
2 事業計画	P. 2
3 収支予算書	P. 13
4 資金調達及び設備投資の見込みについて	P. 20

記載上の注意事項

●公益認定事業区分

(1) 公益目的事業

区内中小企業の振興を図る事業

(2) 収益事業等

〔1〕収益事業

産学連携研究開発支援施設の管理運営

施設貸与に伴う付加サービス事業

〔2〕その他の事業（相互扶助等事業）

区内中小企業勤労者の福祉向上を図る事業

大田区産業プラザの公益目的外貸与事業

大田区産業プラザ施設の維持・管理

●予算額の記入例

無印 … 事業予算額

(補) … 事業予算額のうち区補助金充当額

(利) … 利用料金収入で対応する事業の予算額

(委) … 区等からの委託料で対応する事業の予算額

※予算額は、人件費及び事業管理費を除いた事業費分のみを記載。

令和4年度 基本方針

公益財団法人大田区産業振興協会（以下「協会」）は、1995年の設立以来、度重なる経済変動の中、区内産業の振興という根本目的を掲げ、区とともに産業支援に邁進してきました。

一昨年からはコロナ禍という試練が全世界を覆い、区内産業にも多大な影響を与え続けていますが、協会は直面するこの困難を区内の「産業者」の皆様とともに乗り越えるべく、コロナ対策補助金やスタートアップ支援、オンラインによる事業実施やデジタル化の推進等、さまざまな取組みを行ってまいりました。

協会は令和4年度から引き続き5年間、大田区産業プラザ（Pi0）の指定管理者の指定を受けました。区内産業の拠点である同プラザの施設利用の可能性を最大限活かすことで、施設の価値を高めてまいります。併せて管理運営を担う、昨年10月にオープンした新産業創造・発信拠点であるHANEDA×Pi0交流空間「Pi0 PARK」のさらなる機能強化を図り、海外と国内からのビジネスチャンスを区内に取り込んでまいります。さらに、区内企業のデジタル化に向けたサポートを行うため昨年開設したプラットフォーム「OTA デジタル×Pi0」等を通じて、デジタル技術を活用した事業の生産性向上と高付加価値化を進め、区内企業の「稼ぐ力」を一層高めるためのサポートを行ってまいります。

ウィズコロナからアフターコロナを見据え協会は、この3つのPi0を有機的に連携させていくことで、新しい価値の創造や連携の相乗効果を区内の全産業に及ぼしていけるよう、職員一人ひとりが視野を広く持ち、現場のニーズを的確に捉えながら、区とともに、この計画書に掲げる事業を着実に展開してまいります。

令和4年度 事業計画

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

第1号事業 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業

区内中小企業の高度な技術力や特徴等をPRし、大田区産業の持つ魅力を幅広く情報収集・発信する他、協会が実施する各種事業やサービスの紹介、産業プラザをはじめ産業振興の拠点となる産業支援施設について、印刷物や協会Webサイト等、様々な情報手段を用いて区内外へPRする。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和4年度 重点取り組み事項	予算額(千円) 及び対象等
<p>①大田区産業振興普及事業 (ア)総合事業案内冊子の作成・配布 協会Webサイト、総合事業案内及び大田区工業ガイドを活用し、国内外を問わず大田区の産業をPRし、協会事業の周知を図る。 また、視察対応を通じて区内中小企業の魅力や、区内産業の特徴を広く発信する。 (イ)産業情報の発信 大田区工業ガイド(日本語版・英語版)を協会HPに掲載し、区内産業への理解を深めてもらう。 (ウ)視察対応 国内及び海外からの視察・見学者の対応、見学の斡旋・引率を行う。</p>	<p>総合事業案内及び大田区工業ガイドを隔年で刷新。 本年度は、工業ガイドの内容を刷新する。</p>	<p>424 (補) 424</p> <p>企業、区民、来館者及び国内・海外視察者・見学者、産業団体</p>
<p>②大田ブランド発信事業 高度な技術力や水準の高い製品開発力を持つものづくり企業や、特徴ある名品や名店を営む商い事業者等を大田区の地域ブランド力として発信する。</p>	<p>区内中小企業等の先進的な取組み等を、協会事業の効果的な活用事例と併せて協会Webサイトから毎月1回発信する。</p>	<p>0</p> <p>区内中小企業</p>
<p>③産業情報誌の発行 区内中小企業へ有益な産業情報及び行政施策の情報を発信し、自社の事業展開等に有効活用してもらうことを目的に、産業情報誌「テクノプラザ」を発行(年6回)する。</p>	<p>取引拡大、人材確保等の先進的な取り組み事例等を紹介する他、有益な情報をタイムリーに発信する。</p>	<p>4,701 (補) 4,701</p> <p>区内中小企業</p>
<p>④産業情報受発信事業 区内中小企業に有益な区内外の産業情報を収集するとともに、適切な媒体を用いて広く発信する。協会Webサイトや公式ツイッター等を活用し、産業施策、協会、区等の施策の案内だけでなく企業成長やシティプロモーションにつながる最新の情報をタイムリーに発信する。</p>	<p>SNS等を活用し、区内企業向けだけでなく全国の企業や一般消費者にも大田区の産業情報を発信する。</p>	<p>4,556 (補)4,256</p> <p>区内中小企業及び勤労者</p>
<p>⑤調査・研究事業 区内中小企業が事業展開等を検討する際に不可欠な産業情報等を収集・調査し、発信する。</p>	<p>区内中小企業にとって有益な情報を随時配信する</p>	<p>0 (補) 0</p> <p>区内中小企業</p>
計		<p>9,681 (補)9,381</p>

第2号事業 区内中小企業の経営支援に関する事業

区内の中小企業や事業者の知的財産の活用、IT化の促進、事業承継、許認可取得及び店舗改装、並びに創業者への支援等を経営状況の段階に応じて情報提供や相談、助成を行い、幅広くサポートする。さらに各種の表彰制度を通じ、積極的な経営姿勢やチャレンジ精神の醸成を図り、技術・技能の継承の事例を紹介することで、経営力の向上を図る。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和4年度 重点取り組み事項	予算額(千円) 及び対象等
<p>①中小企業情報化支援 区内中小企業のWebサイトをはじめとした各種PRツールの作成を支援する「PiOデザイン工房」により、自社製品やサービスのPRを促進する。</p> <p>◆目標 新規利用者12件以上</p>	<p>利用利便性を高め、新規利用者の増をめざす。</p>	<p>5,154 (補)2,844</p> <p>区内中小企業</p>
<p>②ビジネスサポートサービス (ア) ビジネスサポート相談 経営改善、販路開拓、技術・生産性の向上、知財の活用、事業承継などに取組む区内中小企業等に対し、各分野の専門家を派遣する。 (イ) 各種許認可等取得支援助成金 環境配慮型経営や国際競争力向上、新分野進出に必要な許認可取得を支援するための経費の一部助成を行う。 (ウ) PiOフロント 大田区産業プラザ1階入口に総合相談窓口を設置し、その場で必要な情報の提供、専門的な助言または、都や国等の支援機関窓口への橋渡しを行うことで、区内企業の経営基盤の強化につなげるとともに、産業プラザ全体の利便性を向上させる。 (エ) 大田区デジタルプラットフォーム 区内中小企業がデジタル化に必要な「人材」「知財」などを補うためのデジタル支援プラットフォーム「OTAデジタル×PiO」を運営し、利用者間の交流支援や、個別ニーズへのきめ細かなサポートを行い、企業経営の高度化及び取引拡大につなげる。</p> <p>◆目標 (ア) 専門家派遣利用回数 400回/年 (イ) 助成金交付 6件/年 (ウ) 公的機関の補助金・助成金採択支援 10件/年 (エ) 「OTAデジタル×PiO」内でのトーク・相談・マガジン投稿機能活用 計12件/年</p>	<p>(ア) 幅広い区内企業の利用促進をめざし、広報活動等の見直しを図る。 (イ) 区内中小企業の航空機分野や医療分野に関連する許認可取得を促進する。 (ウ) 本相談窓口においてビジネスサポート事業や創業者支援事業等の当協会の事業を展開することにより、新規利用者の促進や総合的な課題解決など相乗効果を図る。 (エ) メンバー数を維持・拡大するとともに、コミュニティ内のコミュニケーションを活性化させる。</p>	<p>13,739 (補)13,739</p> <p>区内中小企業</p>
<p>③繁盛店創出事業 (ア) 個店診断・改善費用助成 商店(個店)に、経営指導や店舗デザインなどの専門家を派遣して、総合的な改善提案を行う。専門家の提案に基づいて店舗の内外装飾、宣伝広告などを実施する場合は、その費用の一部を助成することで、モデルとなる繁盛店を創出し、周辺地域への波及効果を狙う。 (イ) 商業版産業情報誌の発行 商業・サービス業事業者に向けて、協会事業の活用促進や事業の改善・拡大につながる記事を掲載する情報誌「あきnow」を年2回発行し、大田区商業の活性化につなげる。</p>	<p>(ア) コロナ禍を乗り越え、店舗の集客安定・拡大を図るための改善をスピーディに支援する。 (イ) 事業利用ルポルタージュに加えて、成功事例店舗の魅力が伝わるような紙面づくりをめざす。</p>	<p>18,456 (補)18,456</p> <p>(ア) 区内商店(個店) (イ) 区内商業・サービス業事業者及び区内で創業しようとする者</p>

<p>◆目標 (ア) 専門家診断・アドバイス 40 店舗以上／年 店舗改善実施助成 25 店舗以上／年 (イ) 抽出調査による読者満足度 80%以上</p>		
<p>④創業者支援事業 新規創業者を発掘・育成、創業間もない者に対して創業期の負担軽減など、専門相談員が様々な課題の解決に向けて助言・指導し、区内創業の定着と事業の発展を支援する。 (ア) 創業相談窓口の設置 区内での創業を考えている方及び創業間もない方へ専門相談員による窓口相談を行い、創業時の様々な課題解決に対応する。 (イ) ものづくり創業スクール 区内外から、ものづくり分野での創業プランを持つ創業（希望）者を募り、助言・指導を行い、区内創業を支援する。 (a) 創業体験ワークショップ ものづくり分野での区内創業を目指す方を対象に、チーム作りなどの創業体験をするワークショップを開催する。 (b) スタートアップ試作支援 創業アイデアを持つ人を対象に特定創業カリキュラムのセミナーを行う。また、試作品やアイデアのコーチング、ピッチイベントを行う。 (ウ) ユナイテッド助成 大田区内の企業に対し試作等を依頼・発注するスタートアップ企業に対し、その依頼・発注に係る経費の3分の1もしくは2分の1（上限50万円）を助成することで、区内の受注増加・販路の拡大及び技術力の向上を図るとともに、区内へのスタートアップ企業の立地促進を行う。</p> <p>◆目標 (ア) 創業相談件数 延315件以上／年 (イ) (a)受講生 延50人以上 (b)参加者 延べ30人以上 (ウ) 申請件数 10件以上</p>	<p>(ア) 専門相談員による継続的な相談や国の特定支援事業の活用を促し、区内創業を促進する。</p> <p>(イ) (a) 創業の体験によってアイデア出し、チーム作りの方法を実践的に学ぶ。また、大田区の特色・事業を広く周知する。 (b) コーチングによりアイデア、試作、プレゼンテーション内容を全体的にブラッシュアップする。ピッチイベントにより協業者とのマッチングを目指す。</p> <p>(ウ) HANEDA×PiO を利用するスタートアップやピッチイベントの参加者を中心に周知を行う。また、事業チラシを新たに作成・配付することで、助成金の知名度向上を図る。</p>	<p>19,901 (補) 19,901</p> <p>区内で創業しようとする者</p> <p>(ウ) スタートアップ企業または創業予定者で、大田区内の企業に試作を依頼・発注する者。</p>
<p>⑤工場表彰制度 人に優しい、まちに優しい、経営や技術に優れた工場を「優工場」に認定し、その中で特に優秀な工場を表彰する。この認定・表彰を通じて、区内ものづくり産業に従事する人のやりがい、生きがいの一助とするとともに、区内町工場の優秀性を内外にPRし、大田区工業の振興に寄与する。</p> <p>◆目標 「優工場」認定による従業員の士気向上、社内風土の改善、プロモーション効果の向上等、認定企業の満足度80%以上</p>	<p>優工場を区内外に広くPRするとともに、優工場認定企業間におけるネットワーク構築に向け、交流会の継続的な開催を支援し、認定企業の自立プロジェクトの推進を図る。</p>	<p>3,680 (補) 3,580</p> <p>区内の工場</p>
<p>⑥商店（飲食店）表彰制度 大田区内の特色ある優良な飲食店として表彰した店舗を総合的にPRすることにより、大田の食の魅力内外に広く周知するとともに、表彰店舗の新たな顧客創出や売り上げアップに寄与する。</p> <p>◆目標 PRによる顧客・売り上げ増等、表彰店舗の事業</p>	<p>表彰店舗のブランド価値を図ることのみにとどまらず、他の飲食店を含めた集客企画やWebサイト、SNSを中心としたPRを展開することで、大田の食全体の魅力向上を図る。</p>	<p>1,913 (補) 1,913</p> <p>区内の一般飲食店</p>

に対する満足度 80%以上		
⑦大田区優秀技術者表彰事業 （「大田の工匠 技術・技能継承」） 技術・技能の継承を目的に実務指導者（師匠）と若手技術者（弟子）による企業内、または企業間で実施されている優れた取組みをPRすることにより、「技術・技能継承」と「若手人材の育成・確保」の重要性を喚起し、区内ものづくり産業の活性化を促す。 ◆目標 従業員のモチベーション、人材の採用・確保事業のPR効果等、受賞企業の満足度 70%以上	技術・技能継承シンポジウムを実施して「技術・技能継承」に対する関心を高める。また、若手起業家や学生に対し、区内モノづくり企業への興味・関心を喚起し、人材確保へとつなげる。	2, 294 (補) 2, 294 区内中小製造業に従事する勤労者
⑧大田のお土産 100 選 表彰事業 大田区のPRの一環として「これぞ大田のお土産！」と言える製品・商品を、区内外へ広くPRすることで、地域経済の活性化と賑わいの創出を図る。 ◆目標 イベント出展事業者アンケート満足度 80%以上	Webサイト等を通じて、表彰事業者の認知度向上、売上拡大の機会を提供するとともに、アクセス解析で得たデータを今後のプロモーション戦略に活用する。	240 (補) 240 区内中小企業
計		65, 377 (補)62, 967

第3号事業 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

大田区を代表するものづくり産業をはじめ、商い・サービス業に対して、専門相談員による受発注相談を行う。また、工業フェアやおおた商い・観光展等の自主企画展示会、各種商談会を実施するほか、国内外の見本市への出展等を支援することで、国内外から受注案件が獲得し易い取引環境の提供や新市場を拡大するためのサポートを行い、地域産業の活性化を図る。 [事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和4年度 重点取り組み事項	予算額(千円) 及び対象等
① 受・発注相談 区内中小企業の取引促進機会を拡大するため、国内外からの受・発注あっせん相談に対応可能な専門の相談員を配置し、適切な区内中小企業の紹介を行うとともに、幅広く商談機会を提供する。 (ア) 相談業務 専門相談員による受・発注のあっせん相談、区内中小企業への巡回訪問を行う。 (イ) 発注開拓 職員、専門相談員が大手・中堅企業の企画・開発部門等へ能動的にアプローチし、発注案件の開拓を行う。 (ウ) 受・発注商談会 新規顧客開拓・情報交換の場として、大田区の製造業者を中心に全国の発注企業と受注企業が一堂に会する商談会を開催する。(年1回) (エ) 発注企業ニーズ選定ミニ商談会 協会職員が発注企業のニーズを選定して小規模の商談会を開催する(年1回) (オ) 大田ものづくりプラットフォームデータベースの構築 区内事業者による Web サイトのコンテンツ等を通じたデータベースをレベルアップし、AI を活用した検索による受発注の機会拡大を目指す。	(ア) 訪問記録がない等、データベースの入力内容が脆弱な区内中小企業への巡回訪問に注力し、受発注あっせんの精度を高める。 (イ) 大手・中堅企業等を中心に職員、専門相談員が発注案件の開拓を対面・オンラインを併行して積極的に行い、区内中小企業の取引促進機会を拡大する。 (ウ) 参加企業数や当日の商談回数等、ウィズコロナでの効果的な商談会の方法を検討し実施する。 (エ) ライフサイエンスや次世代モビリティ等、成長分野の企業を中心に効果的なマッチングを目指す。 (オ) クローリング&スクレイピングの定期実行機能を付加することで、検索対象となるコンテンツを定期的に更新したうえで、AI の活用により	46, 386 (補)45, 956 区内外の 中小企業

<p>◆目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あっせん成立金額 7,000万円/年 ・巡回訪問 500件/年 ・新規企業データ登録件数 70件/年 ・発注開拓成約金額 3,000万円/年 ・受発注商談会の区内企業参加率 受注企業の50% 取引成立金額 1,500万円 ・発注企業ニーズ選定ミニ商談会 商談件数20件 	<p>検索精度を高める。また、Webサイトを持たない区内事業者に対しては、様々な手法を用いて、その有用性を示し、新たなWebサイトの立ち上げを働きかけていくことで、データベースの増強を図る。</p>	
<p>②海外取引相談事業</p> <p>区内中小企業の国際化を推進するため、地域に密着したワンストップ窓口として企業の個別課題に対応する。</p> <p>(ア) 窓口相談 貿易実務や売買契約等、国際ビジネス全般に関する相談業務を行う。</p> <p>(イ) 海外市場開拓 「ASEAN」(タイ・ベトナムなど) および米国を中心に市場開拓を行う。 また、世界各国の市場性や投資環境などの情報や、海外の発注案件を区内中小企業に提供する。</p> <p>(ウ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査 区内中小企業が海外取引に使用する企業カタログ、マニュアル、契約書等の翻訳を行う。また、取引開始時に貴重な判断材料となる外国企業の信用調査をサポートする。</p> <p>(エ) 広告媒体の利用 日本人向け海外ビジネスWebサイトに区内中小企業の広告を掲載する。</p> <p>(オ) 英文企業ガイドの作成 区内企業の製品・技術を海外市場に向けて発信するため、英文の企業ガイドを作成し、ホームページ上で展開する。</p> <p>(カ) 国際ビジネス商談会の実施 国内において区内企業と海外企業・機関との商談会を実施する。</p> <p>◆目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外取引相談件数 60件/月 ・海外企業の信用調査 10件/年 ・国際取引あっせん 5件/年 (成約件数) 	<p>(ア) 窓口対応のほか、必要に応じて連携先機関への橋渡しを行う。</p> <p>(イ) 海外企業・機関の在日拠点との交流やオンラインツール等を活用して市場開拓を行う。</p> <p>(ウ) 海外取引開始時に先ず課題となる「言語」「信用判断」の部分を手厚くサポートし、区内企業の輸出入を促進する。</p> <p>(エ) Webやメールを中心に広告展開を行い、海外日系企業の調達ニーズを区内中小企業へ引き込む。</p> <p>(オ) 掲載企業を追加し、訴求力を高める。</p> <p>(カ) 国内で商談機会を設け、区内企業へ海外取引機会を提供する。</p>	<p>17,318 (補)17,258</p> <p>区内中小企業</p>
<p>③大田区加工技術展示商談会</p> <p>区内中小製造業の約8割を占める10人以下の企業のうち、加工を専門とする企業の技術力を全国の手・中堅企業にPRし、具体的な取引成立を目途とした展示商談会を開催する。(年1回)</p> <p>◆目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 1,200人 商談件数 1,000件 	<p>出展企業の取引促進機会を拡大するため、技術テーマで親和性の高い全国の手・中堅企業に向けた来場者誘致を強化し、確度の高い商談機会の提供につなげる。</p>	<p>13,881 (補)12,825</p> <p>区内中小企業</p>
<p>④国内見本市への出展支援</p> <p>区内中小企業が開発・製造した優秀な製品や優れた技術力のPRと取引促進機会の拡大を目的に、全国規模の展示会に共同出展するための支援を行う。</p> <p>(ア) ものづくり産業PR展示会 全国各地で開催される大規模展示会を活用し、大田区のものづくりをPRするとともに、区内中小企業への発注案件・開発案件の獲得等、取引促進機会</p>	<p>(ア) 区内中小企業と技術テーマで親和性が高く、波及効果が期待できる国内見本市に大田区ブースとして共同出展する。</p> <p>(イ) 受賞企業に対し、希望する展示会への出展に関わ</p>	<p>23,055 (補)17,249</p> <p>区内中小企業</p>

<p>の拡大につなげる。</p> <p>(イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒章出展 新製品・新技術コンクールに受賞した企業に向け、各種展示会への出展支援を行うことにより受賞企業の販路拡大や取引促進機会の拡大につなげる。</p> <p>◆目標 ・発注案件成約件数 30 件/年</p>	<p>る手続き等がスムーズに行えるようサポートする。 (9社)</p>	
<p>⑤海外見本市への出展支援 区内中小企業の海外取引拡大を目的に企業の海外見本市への出展を、共同出展により支援する。</p> <p>(ア) 共同出展 区内産業と親和性の高い海外見本市に区内企業と共同で出展する。海外からの取引機会を促進するほか、見本市会場にて区内産業全体をPRする。</p> <p>◆目標 ・商談件数 200 件/年 ・成約件数 5 件/年</p>	<p>(ア) 出展展示会及び目標 コロナ禍の渡航制限の状況を確認しつつ、以下の見本市に出展する。現地対応が出来ない場合には、代理人やオンラインによる出展を行う。 ・Hannover Messe USA (米国:シカゴ) 自動化ニーズに係る海外市場開拓 ・ベトナム FBC アセアンものづくり商談会(ベトナム:ハノイ) 現地サプライチェーンへの新規参入</p>	<p>9, 851 (補)9, 851</p> <p>区内中小企業</p>
<p>⑥自主企画展示会 (産業フェア)</p> <p>(ア) おおた商い・観光展 大田区の街全体を一つの会場と見立て、参加者(区民中心)に直接お店や観光地を訪れてもらう期間限定のキャンペーンを実施する。 リアルとバーチャルで区内の特徴ある商店、ものづくりに携わる職人・企業及び観光スポットなど大田区の魅力を発信し、大田区産業の活性化を図る。 (開催時期:11月~12月)</p> <p>(イ) おおた工業フェア 展示会や併催イベント等を通じ、区内中小企業の高い技術力・技能を広くPRし、取引拡大に寄与する。(開催時期:2月)</p> <p>◆目標 (ア) 出展数 100 社・団体 入場者数 10,000 人 (イ) 出展数 100 社・団体 入場者数 3,000 人</p>	<p>(ア) 商いと観光を連携・融合させた SNS での情報発信やリアル展示等を行い、会期中の参加事業者への集客や売上アップにつなげ、会期前後にもオンラインで周知することで、商店街・個店への来店や観光地への誘客を促す取り組みの強化を図る。</p> <p>(イ) ハイブリッド形式としてリアル・オンライン双方の来場者を増やし、区内企業の取引拡大を図る。また、大田区発最終製品を取り扱う企画展「OTA テック・トレードショー」を併催する。</p>	<p>28, 252 (補)23, 932</p> <p>区内外の企業及び一般区民</p>
<p>⑦商い・サービス産業取引相談 区内商業・サービス事業者の取引促進のため、事業者の訪問調査・相談を行うための専門相談員を配置して、各種サポートや商談機会を提供する。</p> <p>(ア) 相談業務 商業事業者の経営課題、経営環境の改善等に対して専門相談員による相談や情報提供を行い、商業活動の活性化を図る。</p> <p>(イ) 商業展示会の共同出展 区内商業事業者が、バイヤーへ自社商品を売り込む機会として共同出展を支援する。</p> <p>(ウ) フード展示商談会</p>	<p>(ア) 専門相談員が収集した情報の発信、継続的なマネジメント支援を重点に事業者の経営力強化を図る。</p> <p>(イ) 商品力や交渉力を強化させるため後方支援の充実を図る。</p> <p>(ウ) 一般的なバイヤーのみならず、取引可能性のある区内飲食店や小売店にも参加をよびかける。</p>	<p>9, 257 (補) 7, 742</p> <p>(ア)、(イ) 区内の商業・サービス事業者</p> <p>(ウ) 区内の食品事業者</p>

<p>主に区内食品事業者に対し、バイヤーへ自社商品売り込む商談会を開催する。</p> <p>◆目標</p> <p>(ア) 年間 300 社の訪問、50 件の相談対応</p> <p>(イ) 商談件数 300 件</p> <p>(ウ) 商談件数 140 件、取引成立金額 800 千円</p>		
<p>⑧羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業</p> <p>HANEDA×PiO 内の PiO PARK (ピオパーク) の PR 活動や管理・運営を通じて、区内外の企業・機関の利用促進や連携強化等を行う。</p> <p>(ア) PiO PARK の利用促進 コワーキング、イベント及びショーケース</p> <p>(イ) 協会や区が主催するイベントの運営・支援 セミナー、勉強会及び研修等</p> <p>(ウ) 利用者に対する産業支援 創業・経営相談及び公的支援メニューの紹介等</p> <p>(エ) 区外企業・機関との連携促進 受発注あっせん、技術連携及び海外取引支援等</p> <p>◆目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PiO PARK 利用者数 10,000 名/年 ・ 区外企業・機関との商談・打合せ 50 件/年 	<p>(ア) 様々な広報手段を活用することで施設利用を促進する。</p> <p>(イ) 協会や区が主催するイベントを PiO PARK で積極的に行い、利用者やテナント企業との連携を促進する。</p> <p>(ウ) 職員やコーディネーターによる助言や関係先の紹介を通じ、利用者の経営的成長と満足度向上につなげる。</p> <p>(エ) PiO PARK を接点に、区内企業(当施設利用者含む)と区外企業・機関企業との連携を活性化させ、産業の高度化につなげる。</p>	<p>30, 360</p> <p>(補) 26, 464</p>
計		<p>178, 360</p> <p>(補) 161, 277</p>

第4号事業 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業

区内中小企業の持続した発展の鍵となる、次世代を担う後継者や若手人材の育成・確保を行う。人材育成では、小中学生におおた少年少女発明クラブの活動等を通じてものづくりの魅力を伝えるほか、若手人材には高専と連携した教育を展開する。また、人材確保ではWebサイトやイベントを通じて若手人材の採用を促進するほか、内職希望者のあっせんを行う。

[事業区分:全細事業とも公益目的事業]

細事業名及び事業概要	令和4年度 重点取り組み事項	予算額(千円) 及び対象等
<p>①おしごとナビ大田区</p> <p>インターネット上に、区内中小企業の求人情報と企業PRを発信する場を提供し、登録掲載企業の求人活動を支援する。</p> <p>(ア) 求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営</p> <p>(イ) 民間広告媒体を活用したPRの実施</p> <p>◆目標</p> <p>(ア) 新規掲載 24 件/年 成功事例掲載 3 件/年</p> <p>(イ) 年1回</p>	<p>採用企業の成功事例を掲載し、ユーザーの立場に立ったサイト作りを進め、求職者の利用を促進し、求人企業の採用活動を後押しする。</p>	<p>1, 890</p> <p>(補) 49</p> <p>区内の企業及び一般の求職者</p>
<p>②中小企業次世代のものづくり人材の育成事業</p> <p>区内中小企業の中核となるものづくり人材の育成と小学生の頃からものづくりへの関心を高めるための教育事業を実施する。</p> <p>(ア) 都立産業技術高等専門学校との連携 都立産業技術高等専門学校の教授陣と施設を活用して区内中小企業の人材育成を行う。学校施設を使った座学講座の他に、講師を企業に派遣する出張型の</p>	<p>(ア) 区内中小製造業に広く周知し、座学講座への新規参加者増を図る。 コロナ禍に注目が高まる出前講座を積極的に周知し、区内中小製造業のスキルの底上げを図る。</p>	<p>999</p> <p>(補) 889</p> <p>区内中小企業の従業員</p>

<p>出前講座を実施する。</p> <p>(イ) おおた少年少女発明クラブの支援 小中学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を助成する。</p> <p>◆目標</p> <p>(ア)座学講座参加 50 名以上、出前講座開催延 3 回以上</p>	<p>(イ)運営団体に有益となる産業情報を提供し、クラブの活動の充実を促す。</p>	<p>小学4～6年生</p>
<p>③若者と中小企業とのマッチング事業</p> <p>大学など教育機関との協力を通じて、企業の後継者・若手人材の確保を促進するため、教育機関と区内企業が参加する合同企業説明会をコロナ対応でオンライン開催し、就職活動中の学生と出会う機会を提供する。</p> <p>◆目標</p> <p>年2回</p>	<p>新たな教育機関等の参加を開拓することで、区内中小企業の若手人材確保に寄与する。また、オンラインとともに、コロナの状況も見据えながらリアル開催なども加味したハイブリッド型説明会についても検討する。</p>	<p>1, 963 (補) 1, 963</p> <p>区内中小企業及び一般求職者・職業訓練校生を中心とした若者</p>
<p>④内職あっせん・相談事業</p> <p>区内の求職者及び求人企業を対象として、内職の相談・あっせんを行う。</p> <p>(ア) あっせん相談 協会事務所での常設窓口の設置の他、ハローワーク大森での出張相談(隔月 1 回)を実施</p> <p>(イ) 求人開拓 企業訪問(月1～2回)</p> <p>(ウ) 普及啓発用印刷物の作成 求人募集パンフレット</p> <p>◆目標</p> <p>(ア) あっせん事業所数 300 所 あっせん人数 300 人</p> <p>(イ) 企業訪問数 25事業所</p>	<p>(ア) 求人企業及び求職者のオンライン化、データベース化を進め、マッチング率を高める。</p> <p>(イ) 付加価値があり、単価の高い内職作業を発注する企業の開拓に重点を置いて、訪問等を行う。</p> <p>(ウ) 子育て世代の求職者に事業の認知と具体的な活用につなげるため、区立の児童館を中心に配布する。</p>	<p>3, 331 (補) 3, 331</p> <p>区内中小企業及び区民一般</p>
計		<p>8, 183 (補) 6, 232</p>

第5号事業 区内中小企業の技術開発支援に関する事業

区内中小企業が時代に即した技術開発を行えるように、産学、医工及び企業間連携などを推進するとともに、技術や情報の相互交流により、地域産業の競争力が向上するよう、情報提供、助成、セミナーや展示会の開催など、各種の事業を通じて、産業クラスターの形成や、技術の高度化、開発力の向上に資する。

[事業区分:公益目的事業、一部収益事業]

細事業名及び事業概要	令和4年度 重点取り組み事項	予算額(千円) 及び対象等
<p>①新製品・新技術開発支援事業</p> <p>(ア) トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成</p> <p>区内中小企業の技術力、製品開発力を向上させ、新たな付加価値を生み出すものづくり産業の活性化を図るため、市場調査及び試作開発に要する経費の一部を助成する。</p> <p>(イ) 新製品・新技術コンクール</p> <p>区内中小企業が開発した優秀な新製品・新技術を表彰するとともに、受賞製品技術の販路拡大等支援を行う。</p> <p>◆目標</p> <p>(ア) トライアル助成 採択 10 件、開発ステップアップ助成・実用化製品化助成採択 12 件</p> <p>(イ) 表彰企業 9 社</p>	<p>(ア) 各種媒体等を積極的に活用し助成金の周知に努め、多くの区内企業の応募につながるよう活動する。</p> <p>また、トライアル助成申請増に向けた効果的な制度設計について検討する。</p> <p>(イ) 表彰企業に対して事業ロゴマークの活用を周知することで受賞企業のPR力の強化及び本事業の活性化につなげる。</p> <p>(ア) (イ) 共通</p> <p>協会Webサイトや産業情報誌への掲載、工場アパートや区内金融機関窓口等でのチラシ配布により事業PRを行</p>	<p>76, 546 (補) 76, 546</p> <p>区内中小企業</p>

	う。また、専門相談員と連携し、試作品開発案件に対する本事業活用の促進や巡回訪問時等における事業PR等に積極的に取り組む。	
②産学連携研究開発支援事業 [収益事業] 産学連携研究開発支援施設(オオタ・イノベーション・ラボ)を研究開発に取り組む企業に貸与し、区内での産学連携による製品開発等を促進する。	入居企業の産学連携による研究開発が確実に進むよう、協会の事業活用促進や専門相談員による助言・指導に注力する。	2,764 (補) 0 区内中小企業及び大学等研究機関及び公的機関
③次世代産業創造・産業クラスター形成事業 区内中小企業に親和性が見込める産業分野を中心に次世代産業への参入と地域への各種産業集積の実現に資する事業を実施する。 (ア) 区内の研究開発型企業及び協会サービスに関する情報の発信 大学等研究開発機関の開発ニーズと区内中小企業の技術とのマッチングを促進するため、区内の研究開発型企業を紹介するWebサイト「mirai」の運営及び研究開発型企業ガイドの発行を行う。 (イ) 産学公相談 区内中小企業の新製品・新技術開発における課題を、産学連携相談や大学・研究機関等との連携により事業化できるようマッチングを行う。 (ウ) オープン・イノベーションマッチング 大学等研究開発機関や大手企業の開発ニーズを捉え、区内中小企業とのマッチングを推進することにより、区内中小企業の新産業、次世代産業への参入の機会提供を行う。 (エ) 各種セミナー・ワークショップの開催 ライフサイエンス・ヘルスケア、ロボティクス、次世代モビリティ、レアアース泥開発、環境・海洋プラスチックごみ、農工連携、危機管理、意匠デザイン等、新技術や新分野をテーマにしたセミナーやワークショップを開催する。 (オ) おおた研究・開発フェア 開発した技術の用途開発や共同研究先を探す出展者と技術革新を目指す来場者との出会いの場を提供する。「産学」「産産」連携や、「技術移転」等への展開を通して新たなイノベーション創出に繋げる。 (カ) 新産業分野の展示会への出展 次世代産業分野を中心に幅広く出展し、区内中小企業の技術力をPRするとともに、将来的に産業クラスターの形成につながる研究開発型案件を獲得する。 (キ) 知財マッチングの推進 大手企業・大学などが保有する特許などの知的財産と区内中小企業のニーズを結び付け、区内企業の製品開発や工程改善などを後押しする。 ◆目標 (イ) 売上金額 35,000 千円 (オ) おおた研究・開発フェア 商談件数 5,000 件	(ア) 地方に拠点をおくコーディネーターとの連携により、北海道をはじめとする幅広い地域での大学等研究機関に向けて、区内中小企業との連携に関する情報発信に注力する。また、スタートアップ企業との連携を前向きに取り組みたいと考える区内企業の情報を発信し、付加価値の高い案件の獲得を促す。 (イ) 展示会出展を予定する分野、特にライフサイエンス・ヘルスケア、次世代モビリティ及びロボティクス分野とのマッチングを強化する。 (ウ) 大学等研究開発機関や大手企業の開発ニーズの開拓をより積極的に行う。 (エ) 区内企業の先端産業分野への対応力醸成のため、最新技術や市場動向を踏まえたテーマ設定を行う。 (オ) HANEDA×PiOでの開催により、羽田に隣接する地の利を活かし、遠方や海外から多くの出展及び来場を図る。また、各出展者へ技術コーディネーターを配置・マッチングすることで、確度の高い商談を促進する。 (カ) リアルまたはオンライン展示会それぞれの特徴を十分に把握・活用し、積極的に研究開発型案件を獲得する。 (キ) 大手企業・大学などの知財部門にアプローチし、区内企業の製品開発などに適した技術シーズとのマッチングを実現する。	61,085 (補) 56,861 区内中小企業及び大学等研究機関・医療機関及び公的機関
計		140,395 (補) 133,407

第6号事業 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業

区内中小企業が個別に整備することが難しい福利厚生充実を図る。勤労者共済制度を核に、事業主や勤労者が健康を維持し余暇を有意義に活用するための事業や、慶弔見舞金などの給付金制度等、各種福利厚生事業を行う。
[事業区分:全細事業ともその他事業]

細事業名及び事業概要	令和4年度 重点取り組み事項	予算額(千円) 及び対象等
<p>①加入促進事業</p> <p>(ア) 勤労者共済事業の周知 勤労者共済事業紹介パンフレット類の配布 会報誌の発行・チケット類の郵送など</p> <p>(イ) 会費管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進 ・会員の事業利用状況の把握・給付申請の通知 ・会員募集パンフレット類の配布やあきnow・テクノプラザ・各団体会報誌への掲載、促進員及び職員の訪問 勧奨による加入促進を図る。</p> <p>◆目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加入事業所:法人会員加入契約(企業ごとの加入) 10件/年間 ・福利厚生事業の新規事業開拓 5件/年間 	<p>(ア)・(イ) 共通</p> <p>勤労者共済事業について、ホームページからの利用促進をはじめ、LINE友達登録の推進、ホームページの逐次更新など、会員に対して有益な情報発信を行う。 また、業種・業態に関わらず新規事業所への加入勧奨や法人会等各団体にも積極的に加入促進を図る。</p>	<p>12,737 (補) 4,992</p> <p>区内中小企業事業主及び勤労者・共済会員</p>
<p>②福利厚生事業</p> <p>(ア) 健康の維持増進に関する事業 ・ミニドック・人間ドック、インフルエンザ予防接種の受診補助 ・公衆浴場、スポーツセンター・区営プールの利用補助</p> <p>(イ) レクリエーション事業 バスツアーの利用・補助</p> <p>(ウ) 宿泊補助と生涯学習利用に関する補助 ・指定宿泊施設の利用補助 ・指定通信教育の利用補助</p> <p>(エ) 契約施設等の利用 ・レジャー施設の利用補助 ・区内指定店、デパートの割引あつ旋</p> <p>(オ) 各種チケットの割引あつ旋 ・映画・スポーツ観戦・観劇・コンサート類チケット、プリペイドカード、食事券等の割引あつ旋</p>	<p>(ア)～(オ)共通</p> <p>区内産業との連携促進を図るため、事業ごとの内容の見直しを図りながら、新規企画を立案し、会員サービスの拡充を図っていく。</p>	<p>30,660 (補) 0</p> <p>共済会員</p>
<p>③給付事業</p> <p>(ア) 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付 ・祝金 — 結婚・銀婚・金婚、成人、出生等 ・見舞金 — 入院、障害、住宅火災等 ・弔慰金 — 会員・家族死亡等</p> <p>(イ) 共済会員への「祝品」(5年継続、10年毎継続、小・中学校入学)の贈呈</p>	<p>(ア)・(イ) 共通</p> <p>事業全般のデジタル化を図るため、制度改善を実施する。</p>	<p>7,625 (補) 0</p> <p>共済会員</p>
計		<p>51,022 (補) 4,992</p>

第7号事業 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業

大田区産業プラザの指定管理者として顧客満足度を高め、MICE 誘致の推進により区内産業振興の拠点として地域に貢献する。計画修繕により施設の長寿命化を図り、利用者に快適な空間を提供する。

[事業区分:公益目的事業、収益事業及びその他事業]

細事業名及び事業概要	令和4年度 重点取り組み事項	予算額(千円) 及び対象等
<p>①産業プラザ展示ホール等の管理運営 [公益目的事業及びその他事業]</p> <p>大田区産業プラザ条例に定める施設管理について指定管理者(利用料金制度による)として、大田区産業振興に繋がる利用を促進するとともに、産業プラザの集客力を高め、幅広い交流や情報交換を進める。今年度からコワーキングスペースの管理運営も開始する。</p> <p>【指定管理期間】 令和4年4月1日～令和9年3月31日 今年度は、指定管理期間の最初の年度である。</p> <p>◆目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用率 ホール系 64%、会議室系 63%(コロナ前の2割減を目標とする) ・コワーキングスペース利用者 55名 ・施設利用者満足度(全体) 96% ・利用料金収入額 1億5千450万円 (※駐車場利用料金含む) 	<p>新しい生活様式に対応したMICEの推進に取り組む。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止や災害時の対策を徹底し、利用者の安全、安心を確保して、施設の利用を促進する。</p> <p>災害時における迅速な初期対応を徹底するために、協会職員と委託業者スタッフによる予防体制を強化する。</p> <p>コワーキングスペースの管理運営にあたり、既存会員へのサービスを継続しつつ、新会員の加入や会員同士の交流機会の拡大・利便性の向上に努める。</p>	<p>(利)160,908</p> <p>区内外の企業及び一般区民</p> <p>※利用者の使用目的により公益目的事業とその他事業に区分</p>
<p>②施設貸与に伴う付加サービス事業 [収益事業]</p> <p>大田区産業プラザの管理代行業務の実施に際し、区条例等に定めのないサービスを付加することで施設の利用者の利便性向上と利用促進を図る。</p>	<p>周辺マップやPiO倶楽部の掲載内容を充実させ、より一層快適で対応力ある施設を目指す。</p> <p>MICE活動を推進し、区内産業振興に寄与する。</p>	<p>(自)4,556</p>
<p>③産業プラザ施設維持の管理運営 [その他事業]</p> <p>大田区産業プラザ等の施設維持管理業務受託者(区契約)に対し、協会は管理監督業務を受託する。貸館部分の管理代行と合わせてより効率的な業務運営に努める。また、施設・設備の劣化状況を把握し、小破修繕等を適切に実施する。</p>	<p>大展示ホール特定天井・大規模改修工事設計業務が円滑に行われるよう準備・調整業務を行う。</p>	<p>(委)61,979</p>
計		<p>227,443</p> <p>うち</p> <p>(利)160,908</p> <p>(自)4,556</p> <p>(委)61,979</p>

公益財団法人大田区産業振興協会

収支予算書

[正味財産増減計算ベース]

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,611,000	2,611,000	0
② 特定資産運用益	280,000	120,000	160,000
③ 事業収益	240,320,000	229,924,000	10,396,000
④ 受取補助金等収益	740,013,000	717,910,000	22,103,000
⑤ 受取寄附金	10,000	10,000	0
⑥ 雑収益	44,000	136,000	△ 92,000
経常収益計	983,278,000	950,711,000	32,567,000
(2) 経常費用			
事業費	986,115,000	953,587,000	32,528,000
管理費	8,742,000	8,816,000	△ 74,000
大田区返納金	0	0	0
経常費用計	994,857,000	962,403,000	32,454,000
当期経常増減額	△ 11,579,000	△ 11,692,000	113,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
指定正味財産からの振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 11,579,000	△ 11,692,000	113,000
一般正味財産期首残高	225,845,000	232,213,000	△ 6,368,000
一般正味財産期末残高	214,266,000	225,845,000	△ 11,579,000
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	714,266,000	725,845,000	△ 11,579,000

収支予算書内訳書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計		収 1	収 2
	公 1	小 計		
	区内中小企業の振興 を図る事業		産学連携研究開発 支援施設管理運営	産業プラザの指定管 理に伴う付加サービス 事業
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用収益	1,742,000	1,742,000	0	0
基本財産運用収益	1,742,000	1,742,000	0	0
② 特定資産受取利息	0	0	0	0
特定資産運用収益	0	0	0	0
③ 事業収益	170,784,000	170,784,000	2,880,000	5,268,000
支援事業収入等	170,784,000	170,784,000	2,880,000	5,268,000
④ 受取補助金等収益	638,922,000	638,922,000	0	0
受取大田区補助金	638,922,000	638,922,000	0	0
受取大田区受託料	0	0	0	0
⑤ 受取寄附金	10,000	10,000	0	0
寄附金収益	10,000	10,000	0	0
⑥ 雑収益	44,000	44,000	0	0
雑収益	15,000	15,000	0	0
受取利息収益	28,000	28,000	0	0
受取配当金収益	1,000	1,000	0	0
経常収益計	811,502,000	811,502,000	2,880,000	5,268,000
(2) 経常費用				
事業費	821,907,000	821,907,000	2,764,000	4,556,000
報酬	105,638,000	105,638,000	0	0
役員報酬	2,586,000	2,586,000	0	0
委員報酬	0	0	0	0
給料手当	191,302,000	191,302,000	989,000	659,000
退職給付費用	194,000	194,000	1,000	1,000
福利厚生費	45,899,000	45,899,000	237,000	158,000
会議費	283,000	283,000	0	0
旅費交通費	3,007,000	3,007,000	0	28,000
通信運搬費	4,025,000	4,025,000	0	87,000
費用弁償	84,000	84,000	0	0
消耗什器備品費	7,025,000	7,025,000	0	0
消耗品費	11,043,000	11,043,000	40,000	670,000

〔正味財産増減計算ベース〕

(単位：円)

収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計
他1	他2	他3	小計			
区内中小企業勤労者の福祉向上を図る事業	産業プラザの指定管理に伴う公益目的外貸出に伴う事業	大田区産業プラザ施設の維持・管理				
0	0	0	0	869,000		2,611,000
0	0	0	0	869,000		2,611,000
100,000	0	0	100,000	180,000		280,000
100,000	0	0	100,000	180,000		280,000
45,296,000	16,092,000	0	69,536,000	0		240,320,000
45,296,000	16,092,000		69,536,000	0		240,320,000
31,533,000	0	61,979,000	93,512,000	7,579,000		740,013,000
31,533,000	0	0	31,533,000	7,579,000		678,034,000
0	0	61,979,000	61,979,000	0		61,979,000
0	0	0	0	0		10,000
0	0	0	0			10,000
0	0	0	0	0		44,000
0	0	0	0	0		15,000
0	0	0	0	0		28,000
0	0	0	0	0		1,000
76,929,000	16,092,000	61,979,000	163,148,000	8,628,000		983,278,000
78,817,000	16,092,000	61,979,000	164,208,000			986,115,000
0	0	0	0			105,638,000
274,000	0	0	274,000			2,860,000
220,000	0	0	220,000			220,000
18,455,000	1,922,000	19,865,000	41,890,000			233,192,000
19,000	2,000	20,000	43,000			237,000
4,428,000	461,000	4,766,000	10,050,000			55,949,000
3,000	0	0	3,000			286,000
79,000	21,000	3,000	131,000			3,138,000
897,000	47,000	0	1,031,000			5,056,000
9,000	0	0	9,000			93,000
560,000	194,000	0	754,000			7,779,000
595,000	560,000	2,673,000	4,538,000			15,581,000

科 目	公益目的事業会計		収 1	収 2
	公 1	小 計		
修繕費	22,507,000	22,507,000	800,000	170,000
印刷製本費	6,869,000	6,869,000	0	493,000
燃料費	120,000	120,000	0	0
賃借料	25,125,000	25,125,000	0	253,000
情報使用料	9,024,000	9,024,000	0	0
保険料	818,000	818,000	1,000	1,000
諸謝金	23,711,000	23,711,000	0	0
租税公課	3,134,000	3,134,000	0	0
負担金	44,728,000	44,728,000	0	0
助成金	96,106,000	96,106,000	0	0
委託費	208,219,000	208,219,000	696,000	2,022,000
宣伝広告費	8,883,000	8,883,000	0	0
利用補助費	0	0	0	0
施設利用券購入費	0	0	0	0
給付金	0	0	0	0
渉外費	264,000	264,000	0	0
雑費	1,303,000	1,303,000	0	14,000
減価償却費	10,000	10,000	0	0
管理費				
役員報酬				
委員報酬				
給料手当				
退職給付費用				
福利厚生費				
会議費				
旅費交通費				
通信運搬費				
費用弁償				
消耗什器備品費				
消耗品費				
修繕費				
印刷製本費				
燃料費				
賃借料				
情報使用料				
保険料				

(単位：円)

収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計
他1	他2	他3	小計			
52,000	2,421,000	29,876,000	33,319,000			55,826,000
2,440,000	45,000	0	2,978,000			9,847,000
12,000	0	35,000	47,000			167,000
2,229,000	149,000	1,092,000	3,723,000			28,848,000
510,000	256,000	0	766,000			9,790,000
53,000	22,000	13,000	90,000			908,000
214,000	6,000	0	220,000			23,931,000
90,000	252,000	2,517,000	2,859,000			5,993,000
1,765,000	1,965,000	9,000	3,739,000			48,467,000
0	0	0	0			96,106,000
8,282,000	7,465,000	1,087,000	19,552,000			227,771,000
31,000	257,000	0	288,000			9,171,000
4,769,000	0	0	4,769,000			4,769,000
24,018,000	0	0	24,018,000			24,018,000
7,625,000	0	0	7,625,000			7,625,000
28,000	0	0	28,000			292,000
1,159,000	47,000	23,000	1,243,000			2,546,000
1,000	0	0	1,000			11,000
				8,742,000		8,742,000
				758,000		758,000
				0		0
				5,273,000		5,273,000
				6,000		6,000
				1,265,000		1,265,000
				16,000		16,000
				7,000		7,000
				13,000		13,000
				105,000		105,000
				160,000		160,000
				108,000		108,000
				8,000		8,000
				4,000		4,000
				3,000		3,000
				124,000		124,000
				146,000		146,000
				16,000		16,000

科 目	公益目的事業会計		収 1	収 2
	公 1	小 計		
諸謝金				
租税公課				
負担金				
委託費				
宣伝広告費				
渉外費				
雑費				
減価償却費				
経常費用計	821,907,000	821,907,000	2,764,000	4,556,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,405,000	△ 10,405,000	116,000	712,000
当期経常増減額	△ 10,405,000	△ 10,405,000	116,000	712,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
指定正味財産からの振替額				
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				
II 指定正味財産増減の部				
受取寄附金等				
一般正味財産への振替額				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高				

(単位：円)

収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計
他1	他2	他3	小計			
				61,000		61,000
				26,000		26,000
				356,000		356,000
				251,000		251,000
				9,000		9,000
				8,000		8,000
				19,000		19,000
				0		0
78,817,000	16,092,000	61,979,000	164,208,000	8,742,000		994,857,000
△ 1,888,000	0	0	△ 1,060,000	△ 114,000		△ 11,579,000
△ 1,888,000	0	0	△ 1,060,000	△ 114,000		△ 11,579,000
						0
						0
						0
						△ 11,579,000
						225,845,000
						214,266,000
						0
						0
						0
						500,000,000
						500,000,000
						714,266,000

公益財団法人大田区産業振興協会

令和4年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合はその借入先等を記載する。

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	借入先	金額	使途		

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載する。

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途		